

第1章 県民向けアンケート調査

1. 調査概要

(1) 調査目的

県民を対象とした文化活動実態調査を行うことで、今後の文化施策の企画・立案・検証の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査設計

【調査設計】

調査地域	沖縄県全域
母集団	県内に居住する、20歳以上の男女
標本数	5,000 サンプル
標本抽出方法	住民基本台帳から標本抽出を行う。 ※沖縄県の市町村を那覇、北部、中部、南部、宮古、八重山の6地域に分類 ※県民全体の縮図となるように、対象調査地区人口及び年齢構成に応じ、調査件数を比例配分し市町村ごとの件数を決定 ※人口50人以上の有人離島の場合一定数割付
調査方法	郵送配布、郵送またはWEB回収
調査期間	令和4年2月18日～3月13日 (郵送回答〆切3月6日、WEB回答〆切3月13日)
有効回収数	1,844 サンプル (36.9%) 郵送回収:1,443 票、WEB回収:401 票

【本調査の対象市町村】

地域	自治体	地域	自治体	地域	自治体
北部	名護市	中部	宜野湾市	南部	那覇市
	国頭村		浦添市		糸満市
	大宜味村		沖縄市		豊見城市
	東村		うるま市		南城市
	今帰仁村		読谷村		与那原町
	本部町		嘉手納町		南風原町
	恩納村		北谷町		八重瀬町
	宜野座村		北中城村		渡嘉敷村
	金武町		中城村		座間味村
	伊平屋村		西原町		粟国村
	伊是名村				渡名喜村
伊江村		南大東村			
八重山	石垣市	宮古	宮古島市	北大東村	
	竹富町		多良間村	久米島町	
	与那国町				

第1章 県民向けアンケート調査

(3) 調査結果の見方

- 各調査結果については、原則として、各質問の調査数を基数とした百分率(%)で表している。集計は、小数点第2位を四捨五入しているため、回答比率の合計が100%にならない場合がある。
- 2つ以上の選択肢を選択できる複数回答の質問の場合、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- サンプル数が僅少となる属性項目については、比較が変動しやすいため、参考程度の掲載にとどめ結果の利用には注意を要する。

(4) 調査回答者数

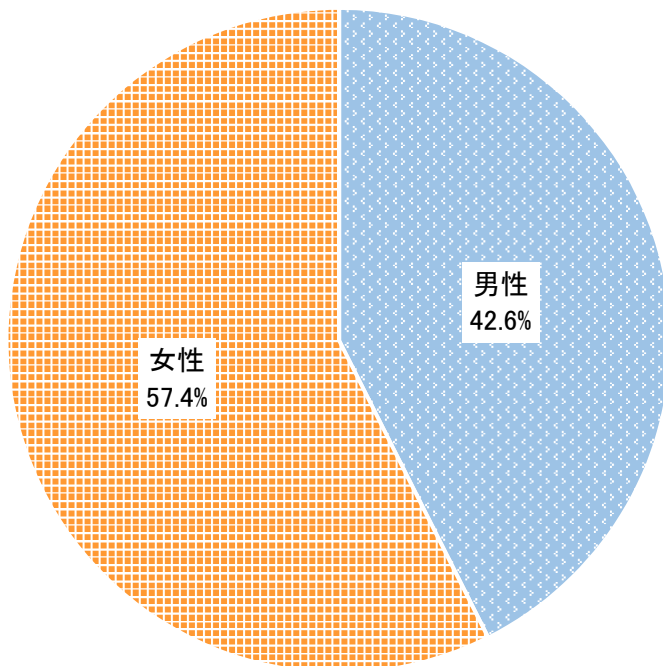
① 母集団と比較した調査回答者属性の特徴

		母集団 の構成比(※1)	調査回答者 の構成比
性別	男性	49.9%	42.6%
	女性	50.1%	57.4%
地域	那覇	21.7%	20.2%
	北部	8.8%	8.6%
	中部	43.4%	37.8%
	南部	18.7%	17.8%
	宮古	3.7%	6.9%
	八重山	3.7%	8.7%
年代	20代	14.4%	9.3%
	30代	17.2%	14.9%
	40代	20.0%	20.0%
	50代	17.7%	20.3%
	60代	18.1%	20.3%
	70代以上	12.6%	15.2%

(※1) 令和3年住民基本台帳人口の構成比 (R3.1参考)

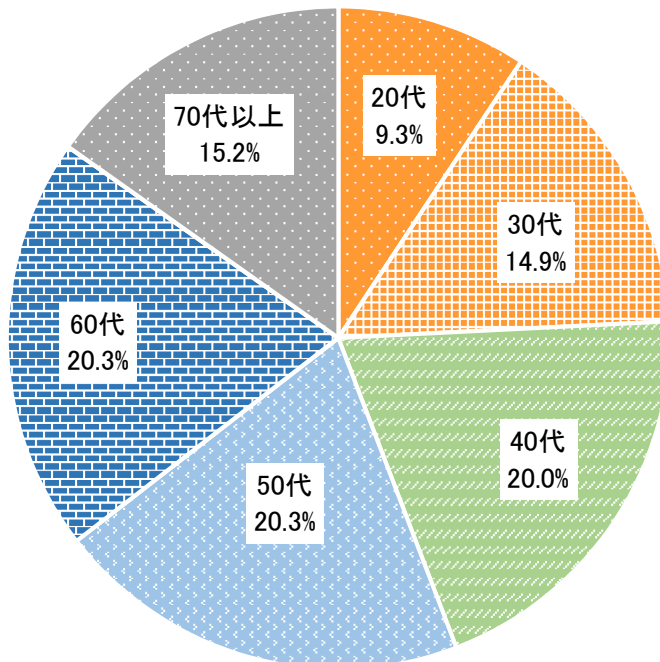
(5) 回答者の基本属性

① 性別



n=1844

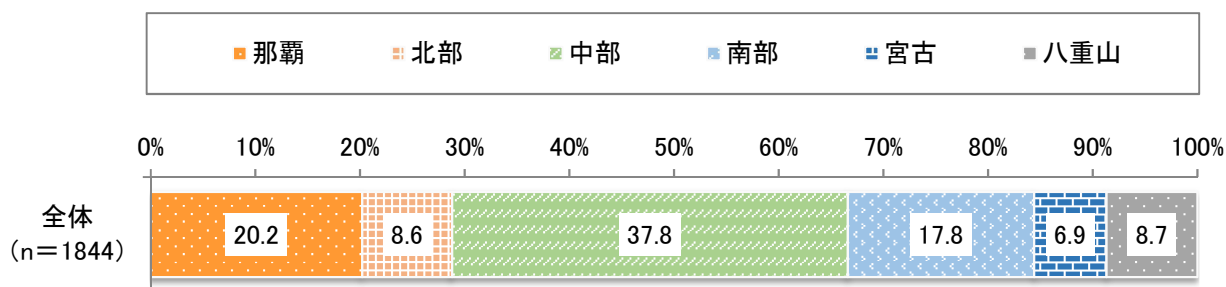
② 年代



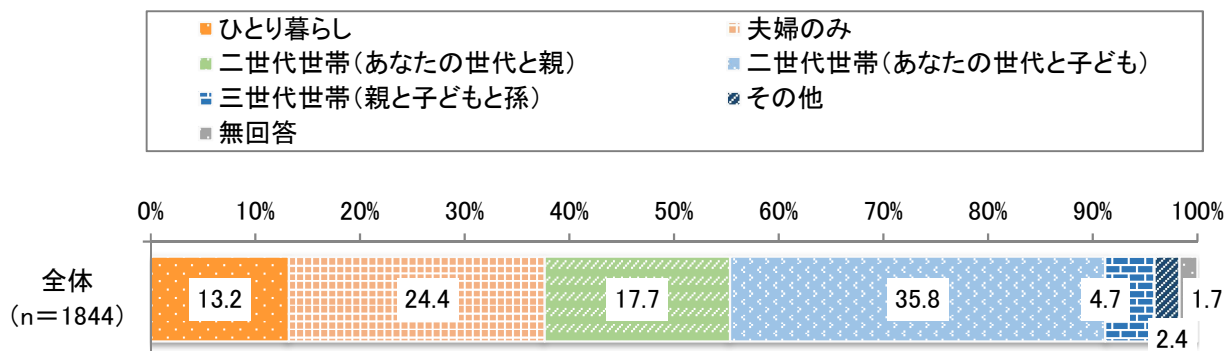
n=1844

第1章 県民向けアンケート調査

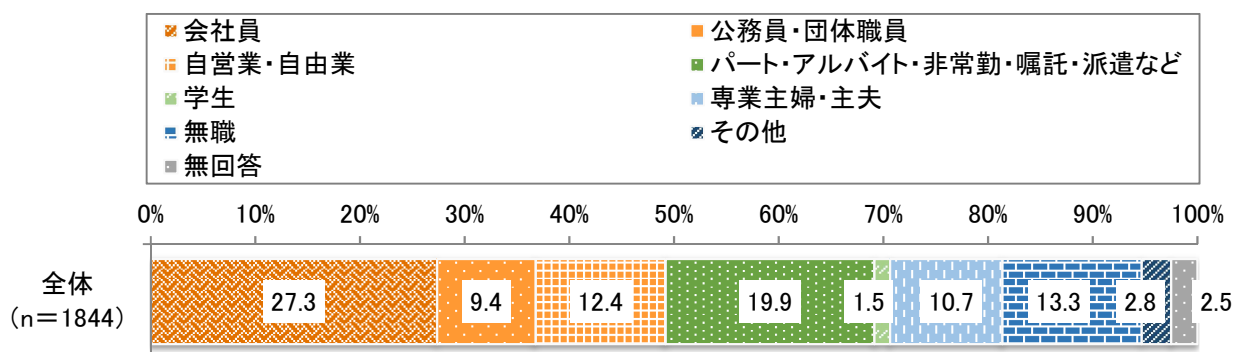
③ 居住地



④ 家族構成



⑤ 職業



2. 調査結果の要約

1. ふだんの生活における文化・芸術等とのふれあいについて

◆ 文化芸術の鑑賞活動

この1年で直接鑑賞した芸術活動について、「映画、アニメ、CG(コンピュータグラフィクス)などの映像作品」(33.6%)の割合が最も高く、特に20代(51.5%)、40代(40.5%)でその他の年代よりも鑑賞率が高くなっています。

前回調査(H27)との比較で、最も大きな違いとして表れたのは「この1年くらいの間にホールなどで鑑賞したことはない」の回答が6.6%から31.0%へ激増しておりコロナ禍による外出自粛や文化施設の休館、公演・イベント等の中止、集客制限による影響が顕著に出ています。

その他、割合が増加している項目は「沖縄芸能(エイサー、組踊、琉球古典音楽、沖縄芝居など)」で6.5%から17.6%と他のジャンルよりも増加の割合が高くなっています。

◆ 今後行って鑑賞してみたい活動

今後行って鑑賞してみたい活動について「ポピュラー音楽(歌謡曲、ポップス、ロック、ジャズなど)」(52.3%)で最も高くなっています。前回調査(H27)と比較してどのジャンルを見ても割合は増加し、鑑賞意欲が高いことがうかがえます。

◆ 文化活動を行うことの重要度

日常生活の中で文化芸術活動を行うことの重要度について91.5%が大切だと感じ、前回調査(H27)(86.7%)よりも4.8ポイント上昇しています。

◆ 文化・芸術活動を行う上で、支障となっていること

文化・芸術活動を行う上で、支障となっていることについて「時間的な余裕がない」(48.8%)で最も高く、次いで「経済的な余裕がない」(31.2%)、「文化芸術に関する情報が少ない」(24.0%)となっています。

前回調査(H27)と比較すると、ほとんどの項目で前回よりもポイントが減少していますが、「関心のある文化活動が少ない」(16.9%←前回11.7%)では上昇しています。

年代別にみると、「時間的な余裕がない」では20～50代までの年代で5～6割と高くなっています。

第1章 県民向けアンケート調査

2. コロナウイルス感染症拡大後の影響について

◆ コロナ感染症拡大による生活や文化活動の変化

公演や展覧会等へ直接行く機会の変化について、減った（「どちらかというが減った」＋「減った」）が79.2%とコロナにより文化芸術鑑賞が減少しています。

一方、公演や展覧会等以外の鑑賞機会（オンラインやリモート等）の変化については27.3%が増えた（「増えた」＋「どちらかというが増えた」）と回答し、特に20～50代で3割前後と高くなっています。

増えたと回答したうち具体的な鑑賞機会の手段については、「動画配信サイト」が83.9%と最も割合が高く、次いで「テレビ、ラジオ」（46.2%）と続きます。

年代別にみると、20～40代では「動画配信サイト」が9割と高く、60代以上では「テレビ、ラジオ」で6割強と年代差がみられます。

◆ 新型コロナウイルス感染症収束後の公演や展覧会等での直接鑑賞の希望

新型コロナウイルス感染症収束後の直接鑑賞の希望について、「鑑賞したい」が62.7%で「どちらかというに鑑賞したい」と合わせると86.3%が、コロナ感染症収束後直接鑑賞を希望しています。

直接鑑賞の希望について、性別でみると男性（54.1%）よりも女性（68.1%）で高くなっています。また、年代別では最も割合が高いのは30代（73.9%）となり、20～50代までの年齢層で特に高くなっています。

◆ 感染症による生活や文化活動の変化

生活の質に関して、①楽しみでの「やや減った」と「減った」を合わせた割合は全体で73.6%となり、幸せや、心身の健康よりも変化が顕著に出ています。

芸術文化活動に関して、①文化芸術活動に使う時間については「やや減った」と「減った」を合わせた割合は全体で60.3%となり、男性（55.1%）より女性（64.1%）で高くなっています。年代別にみると、どの年代でも5割前後となりますが、「減った」の回答をみると、20代では29.2%に対し、年代が高くなるにつれて割合は高くなり70代以上では37.7%となっています。

②文化芸術活動に使うお金についてにみると、減った（「やや減った」＋「減った」）と回答した割合が58.9%で高くなっていますが、「変わらない」の回答を年代別みると20代では40.9%と他の年代と比較してその割合が高くなっています。

③文化芸術活動について学ぶ意欲をみると、増えた（「増えた」＋「どちらかというが増えた」）と回答した割合は、20代（11.7%）、30代（11.6%）で他の年代よりも高くなっています。

3. 文化・芸術に対する重視度、満足度について

◆ 文化芸術に対する重視度、満足度について

重視度、満足度ともに高い項目は、「子どもが文化に親しむ機会の提供」、「地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること」、「文化・芸術に関する総合的な満足度」、「県民が文化芸術にふれる機会が増加していること」、「文化財や歴史的遺産の観光等への活用」、「伝統芸能の公開や後継者育成の促進」で、現状の文化芸術活動の強みとして、引き続き維持、強化していくことが必要です。

一方、重視度が高いにもかかわらず、満足度が低い項目は「質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実」でニーズに対する取組みの強化が求められる施策と考えられます。

4. 沖縄県の文化・芸術の今後について

◆ 文化・芸術に関する情報の取得媒体

現在入手している媒体について、「テレビ、ラジオ」（75.1%）で最も高く、「新聞、広報紙」（66.0%）、「チラシ、パンフレット」（51.2%）と続きます。

前回調査(H27)と比較すると「webサイト（ホームページ）」（40.6%）では、前回（31.1%）より9.5ポイント高く、特に「Facebook、Instagram、TwitterなどのSNS」（30.4%）では前回（13.3%）から17.1ポイント急増しています。これら媒体からの情報取得を年代別にみると20～30代では6割前後で高くなっています。

一方、60代以上では「新聞、広報紙」、「テレビ、ラジオ」で8割前後と高く、年代別で情報取得媒体に違いがみられます。

◆ 文化・芸術を振興するために注力すべきこと

文化芸術活動を振興するために、県が注力すべきことについて「子どもや青少年が文化・芸術に親しむ機会の充実」（83.4%）で最も高く、次いで「文化活動を担う人材や指導者の育成、団体支援」（51.5%）よりも31.9ポイント差があり、県民の高い関心となっています。同項目は17の施策項目でも重視度が高いことから分かるように、幼少期からの文化・芸術に触れられたり、学びの機会の創出が必要といえそうです。

年代別の傾向として、20～40代の層と50代以上の層に注目すると「文化活動を担う人材や指導者の育成、団体支援」では20～40代は4割程度に対し、50代以上になると6割弱となっています。また、「県民の文化芸術活動に対する支援」についても、20代では24.6%に対し、70代以上では41.3%と年代により違いがみられます。

第1章 県民向けアンケート調査

3. 調査の結果

3-1. ふだんの生活における文化・芸術等とのふれあいについて

(1) 直接鑑賞した活動、今後直接鑑賞してみたい活動

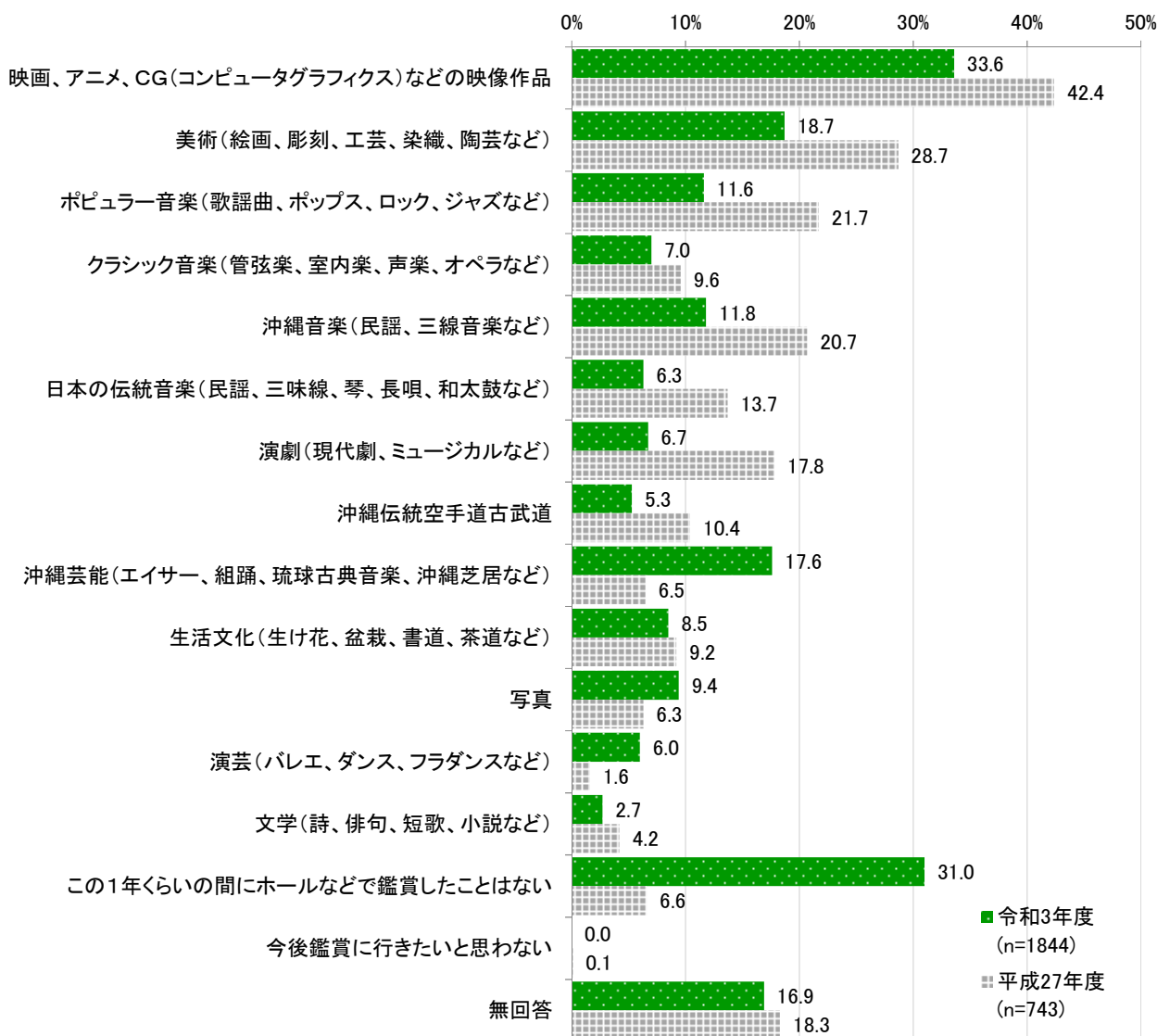
① この1年で直接鑑賞した芸術活動

この1年で直接鑑賞した芸術活動について、「映画、アニメ、CG(コンピュータグラフィクス)などの映像作品」(33.6%)の割合が最も高く、次いで「この1年くらいの間にホールなどで鑑賞したことはない」(31.0%)、「沖縄芸能」(17.6%)となっている。

前回調査(H27)と比較すると、「この1年くらいの間にホールなどで鑑賞したことはない」では24.4ポイント増加し、新型コロナウイルス感染症対策の影響とみてとれる。

性別にみると、「沖縄伝統空手道古武道」では男性(8.1%)が女性(3.1%)より5ポイント高く、「演芸(バレエ、ダンス、フラダンスなど)」は女性(7.7%)が男性(3.7%)より4ポイント高くなっている。

年代別にみると、「映画、アニメ、CG(コンピュータグラフィクス)などの映像作品」では20代(51.5%)と最も高いが、60代、70代以上で2割程度に留まる。



第1章 県民向けアンケート調査

(%)

		n=	映画、アニメ、CG(コンピュータグラフィクス)などの映像作品	美術(絵画、彫刻、工芸、染織、陶芸など)	ポピュラー音楽(歌謡曲、ポップス、ロック、ジャズなど)	クラシック音楽(管弦楽、室内楽、声楽、オペラなど)	沖縄音楽(民謡、三线音楽など)	日本の伝統音楽(民謡、三味線、琴、長唄、和太鼓など)	演劇(現代劇、ミュージカルなど)	沖縄伝統空手道古武道
全体		1844	33.6	18.7	11.6	7.0	11.8	6.3	6.7	5.3
性別	男性	786	34.5	18.3	11.6	6.4	13.2	6.2	4.7	8.1
	女性	1058	32.9	19.0	11.5	7.6	10.8	6.3	8.1	3.1
年代別	20代	171	51.5	22.8	18.1	5.8	11.7	5.3	9.4	4.1
	30代	275	34.2	16.7	11.3	5.1	10.5	4.4	8.4	4.4
	40代	368	40.5	13.9	7.9	5.7	7.6	4.3	7.6	4.1
	50代	374	33.4	17.1	10.4	6.4	6.4	3.5	4.3	3.7
	60代	375	26.9	20.0	10.4	8.8	15.2	7.7	5.1	6.1
	70代以上	281	22.1	24.9	15.7	10.0	21.4	13.2	7.5	9.3
		n=	沖縄芸能(エイサー、組踊、琉球古典音楽、沖縄芝居など)	生活文化(生け花、盆栽、書道、茶道など)	写真	演芸(パレエ、ダンス、フラダンスなど)	文学(詩、俳句、短歌、小説など)	この1年くらいにホールなどで鑑賞したことはない	今後鑑賞に行きたいと思わない	無回答
全体		1844	17.6	8.5	9.4	6.0	2.7	31.0	-	16.9
性別	男性	786	18.6	6.7	9.3	3.7	2.9	29.4	-	18.3
	女性	1058	16.9	9.7	9.5	7.7	2.5	32.1	-	15.9
年代別	20代	171	18.1	2.9	9.9	5.3	2.9	26.9	-	8.8
	30代	275	17.1	5.5	10.9	6.5	1.8	38.9	-	11.3
	40代	368	11.7	5.2	5.4	5.7	1.9	35.3	-	13.0
	50代	374	12.8	4.3	7.2	3.7	1.9	37.7	-	14.2
	60代	375	19.2	12.0	10.7	4.5	1.6	22.9	-	27.2
	70代以上	281	29.9	19.9	14.2	11.0	6.8	21.7	-	22.4

第1章 県民向けアンケート調査

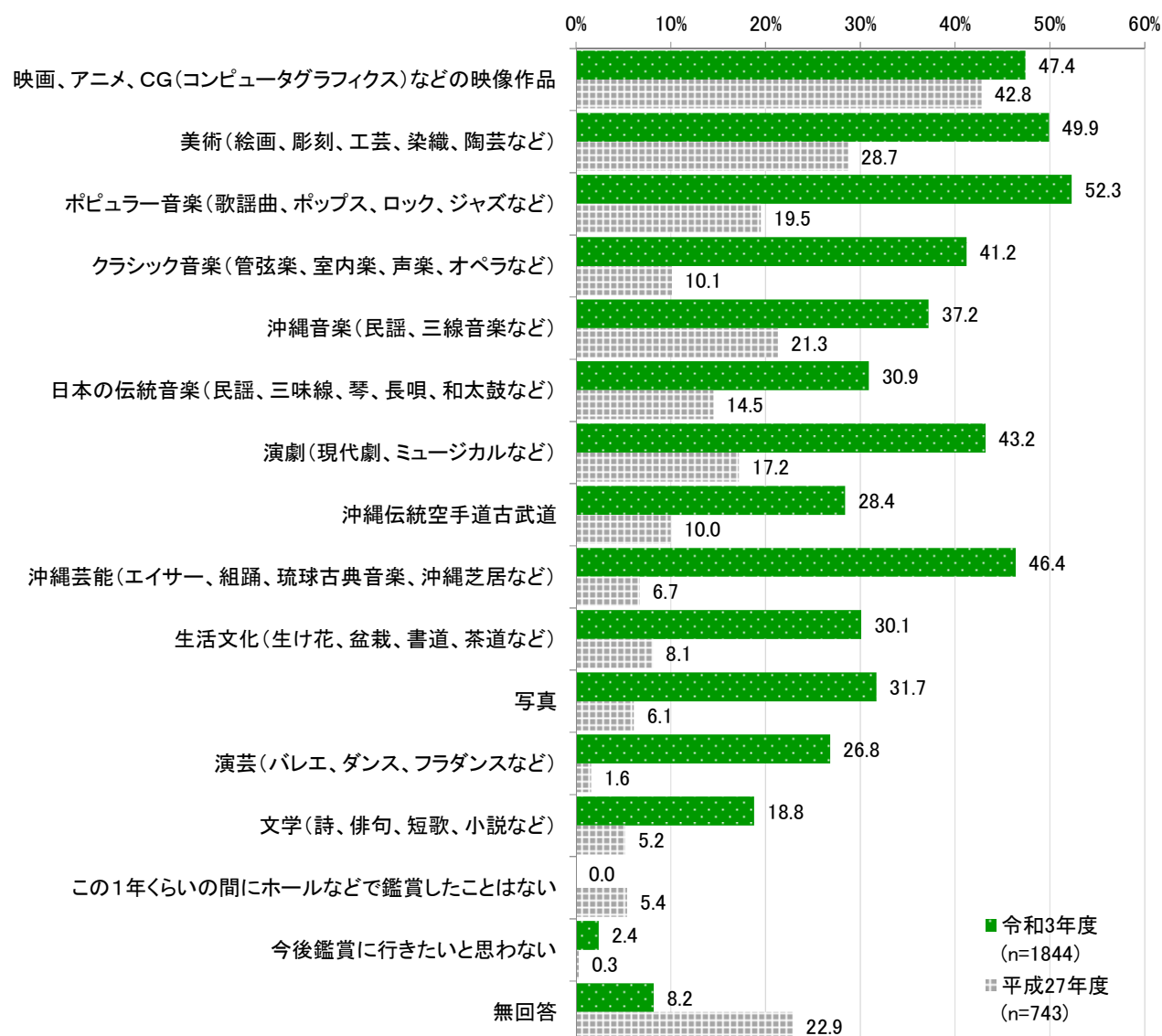
② 今後行って鑑賞してみたい活動

今後行って鑑賞してみたい活動について、「ポピュラー音楽(歌謡曲、ポップス、ロック、ジャズ)」(52.3%)の割合が最も高く、次いで「美術(絵画、彫刻、工芸、染織、陶芸など)」(49.9%)、「映画、アニメ、CG(コンピュータグラフィクス)などの映像作品」(47.4%)となっている。

前回調査(H27)と比較すると、「沖縄芸能(エイサー、組踊、琉球古典音楽、沖縄芝居など)」では39.7ポイント増加し、他の芸術活動よりもポイントが高くなった。

性別にみると、「生活文化(生け花、盆栽、書道、茶道など)」では男性(22.8%)よりも女性(35.5%)で割合が高くなっている。

年代別にみると、「ポピュラー音楽(歌謡曲、ポップス、ロック、ジャズなど)」では50代(60.7%)が最も高く、70代以上で3割程度に留まる。



第1章 県民向けアンケート調査

(%)

		n=	映画、アニメ、CG(コンピュータグラフィクス)などの映像作品	美術(絵画、彫刻、工芸、染織、陶芸など)	ポピュラー音楽(歌謡曲、ポップス、ロック、ジャズなど)	クラシック音楽(管弦楽、室内楽、声楽、オペラなど)	沖縄音楽(民謡、三线音楽など)	日本の伝統音楽(民謡、三味線、琴、長唄、和太鼓など)	演劇(現代劇、ミュージカルなど)	沖縄伝統空手道古武道
全体		1844	47.4	49.9	52.3	41.2	37.2	30.9	43.2	28.4
性別	男性	786	46.2	44.0	49.7	35.9	35.8	28.2	36.3	29.4
	女性	1058	48.3	54.3	54.3	45.1	38.3	32.9	48.4	27.7
年代別	20代	171	43.3	42.1	54.4	45.6	38.0	33.3	44.4	26.3
	30代	275	54.5	50.9	50.9	41.8	32.0	34.2	50.9	30.9
	40代	368	54.6	49.5	60.3	37.0	34.5	28.3	43.2	27.2
	50代	374	54.0	58.0	60.7	47.6	43.0	32.4	46.8	28.9
	60代	375	42.9	49.9	51.5	40.5	36.3	27.7	41.6	25.6
	70代以上	281	30.6	43.4	32.0	35.6	38.8	32.0	32.4	32.0
		n=	沖縄芸能(エイサー、組踊、琉球古典音楽、沖縄芝居など)	生活文化(生け花、盆栽、書道、茶道など)	写真	演芸(パレエ、ダンス、フラダンスなど)	文学(詩、俳句、短歌、小説など)	この1年くらいの間、ホールなどで鑑賞したことはない	今後鑑賞に行きたいと思わない	無回答
全体		1844	46.4	30.1	31.7	26.8	18.8	-	2.4	8.2
性別	男性	786	40.5	22.8	30.2	20.0	17.4	-	3.2	11.8
	女性	1058	50.9	35.5	32.9	31.9	19.8	-	1.9	5.6
年代別	20代	171	39.2	33.3	39.8	34.5	25.1	-	2.3	6.4
	30代	275	45.1	28.7	34.2	33.8	26.9	-	2.9	4.7
	40代	368	47.3	25.5	33.2	22.6	15.2	-	1.4	6.3
	50代	374	51.3	31.0	32.9	26.5	14.4	-	2.1	6.1
	60代	375	47.7	32.5	26.7	25.3	17.6	-	2.9	8.8
	70代以上	281	42.7	31.0	27.8	23.5	18.9	-	3.2	17.4

第1章 県民向けアンケート調査

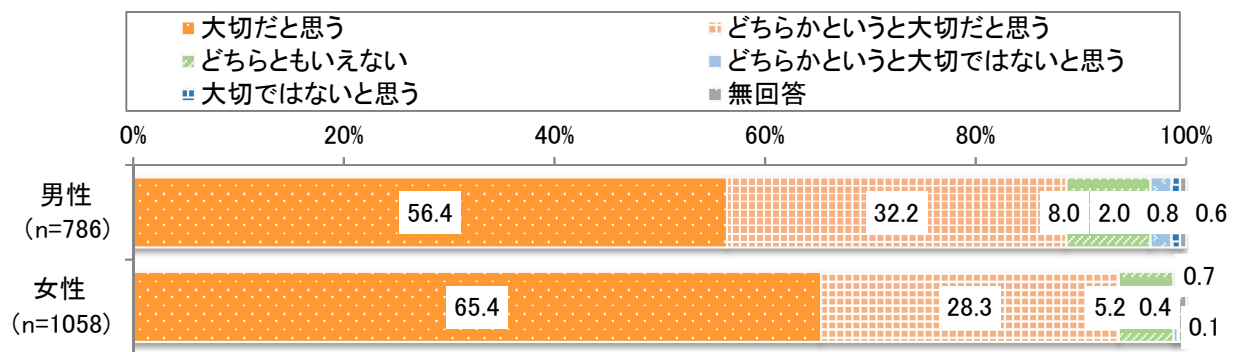
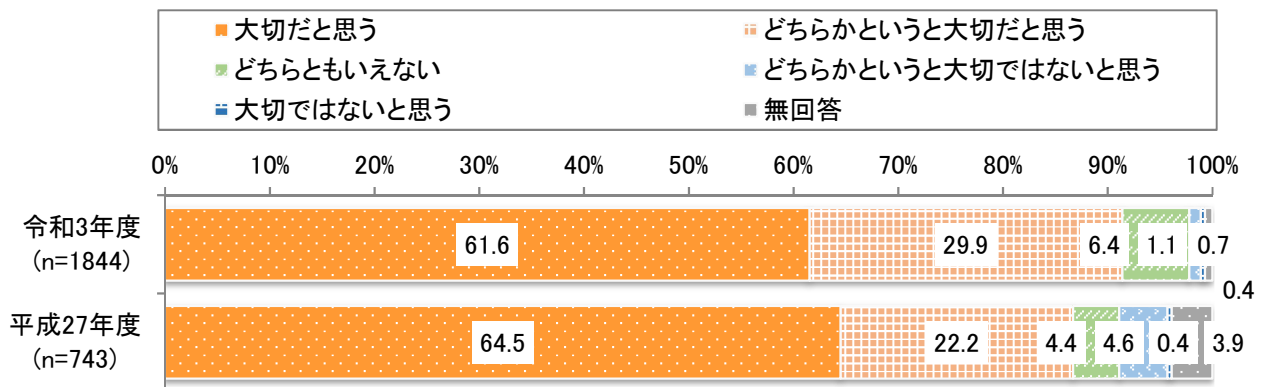
(2) 日常生活の中で文化芸術活動を行うことの重要度

日常生活の中で文化芸術活動を行うことの重要度について、「大切だと思う」と「どちらかという大切なと思う」を合わせると91.5%となっている。

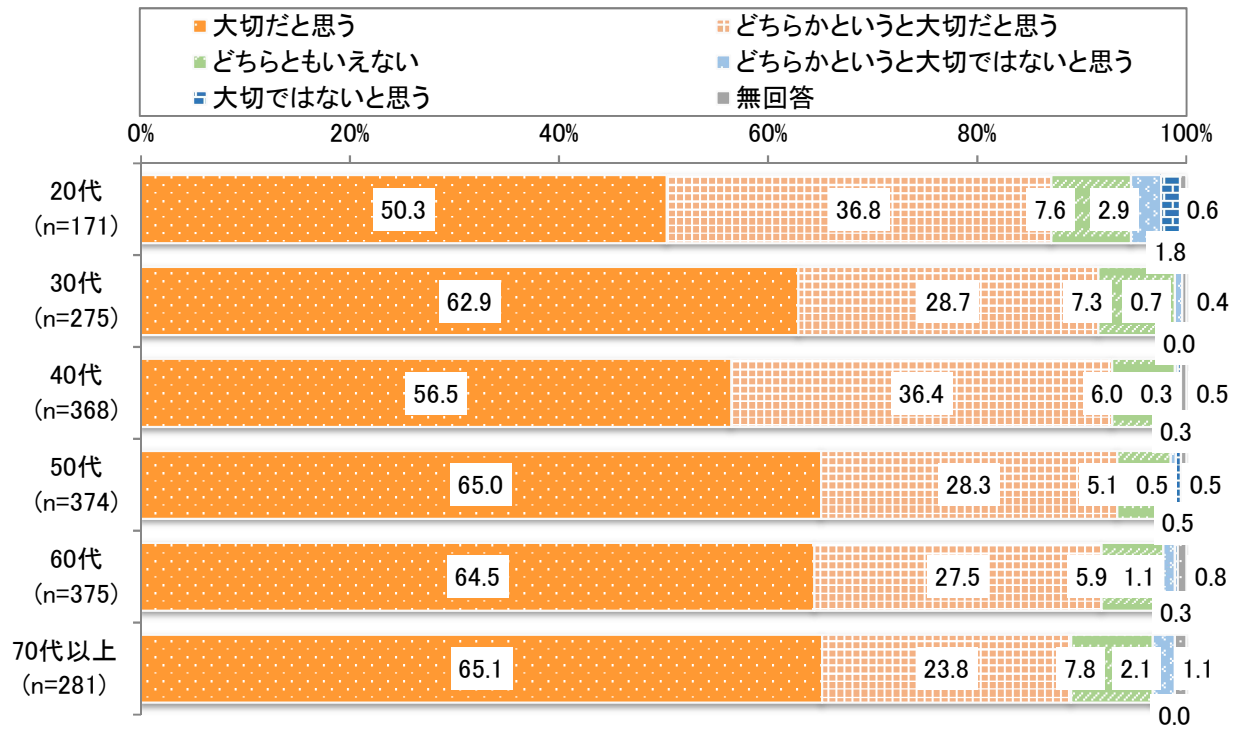
前回調査(H27)と比較すると、「大切だと思う」と「どちらかという大切なと思う」を合わせた割合は 4.8 ポイント増加している。

性別にみると、「大切だと思う」では男性(56.4%)より女性(65.4%)の割合が高くなっている。

年代別にみると、「大切だと思う」は 20 代(50.3%)で最も低く、最も高い 70 代以上(65.1%)とは 14.8 ポイント開きがある。



第1章 県民向けアンケート調査



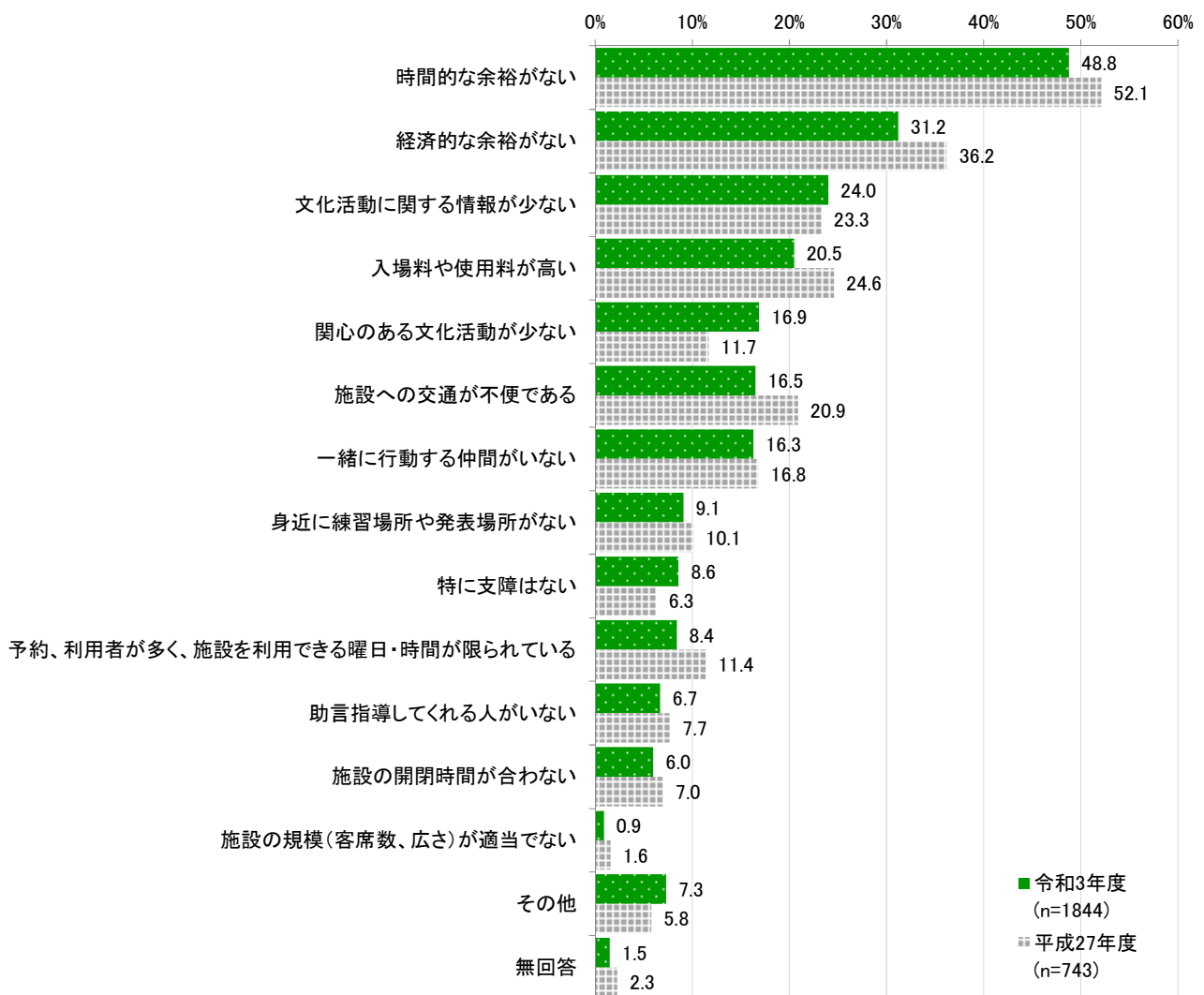
第1章 県民向けアンケート調査

(3) 文化・芸術活動を行う上で、支障となっていること

文化・芸術活動を行う上で、支障となっていることについて、「時間的な余裕がない」(48.8%)の割合が最も高く、次いで「経済的な余裕がない」(31.2%)、「文化活動に関する情報が少ない」(24.0%)となっている。

前回調査(H27)と比較すると、「関心のある文化活動が少ない」の割合は5.2ポイント増加している。性別にみると、「関心のある文化活動が少ない」の割合は女性(14.5%)より男性(20.1%)が高く、「入場料や使用料が高い」では男性(17.0%)で、女性(23.1%)より割合が低くなっている。

年代別にみると、「時間的な余裕がない」では30代、40代の割合が高く、6割を超えている。



第1章 県民向けアンケート調査

(%)

		n=	時間的な余裕がない	経済的な余裕がない	文化活動に関する情報が少ない	関心のある文化活動が少ない	入場料や使用料が高い	一緒に行動する仲間がない	施設への交通が不便である	予約、利用者が多く、施設を利用できる曜日・時間が限られている
全体		1844	48.8	31.2	24.0	16.9	20.5	16.3	16.5	8.4
性別	男性	786	46.9	30.2	24.6	20.1	17.0	17.3	13.4	7.1
	女性	1058	50.1	32.0	23.5	14.5	23.1	15.6	18.8	9.4
年代別	20代	171	54.4	35.1	29.2	19.3	16.4	22.2	17.5	6.4
	30代	275	60.0	33.5	24.7	17.1	20.7	14.2	18.9	7.3
	40代	368	63.9	34.8	22.8	17.1	22.3	12.2	10.6	9.5
	50代	374	55.1	32.1	23.3	16.3	21.9	14.7	12.0	8.8
	60代	375	38.1	29.9	22.7	15.7	22.9	17.3	19.7	9.3
	70代以上	281	20.3	22.8	24.2	17.1	15.3	21.0	22.8	7.5
		n=	助言指導してくれる人がいない	身近に練習場所や発表場所がない	施設の開閉時間が合わない	施設の規模(客席数、広さ)が適当でない	その他	特に支障はない	無回答	
全体		1844	6.7	9.1	6.0	0.9	7.3	8.6	1.5	
性別	男性	786	7.9	9.5	5.9	0.9	6.0	8.7	0.9	
	女性	1058	5.8	8.7	6.0	0.9	8.2	8.5	2.0	
年代別	20代	171	10.5	7.0	7.0	0.6	7.6	9.4	1.8	
	30代	275	5.5	10.9	6.5	1.1	12.4	4.7	0.7	
	40代	368	6.8	6.3	5.4	1.1	6.0	4.6	0.5	
	50代	374	4.8	7.8	7.2	0.8	7.5	6.4	1.6	
	60代	375	7.7	10.4	6.1	0.3	5.9	11.5	1.6	
	70代以上	281	6.4	12.1	3.6	1.4	5.3	16.0	3.2	

第1章 県民向けアンケート調査

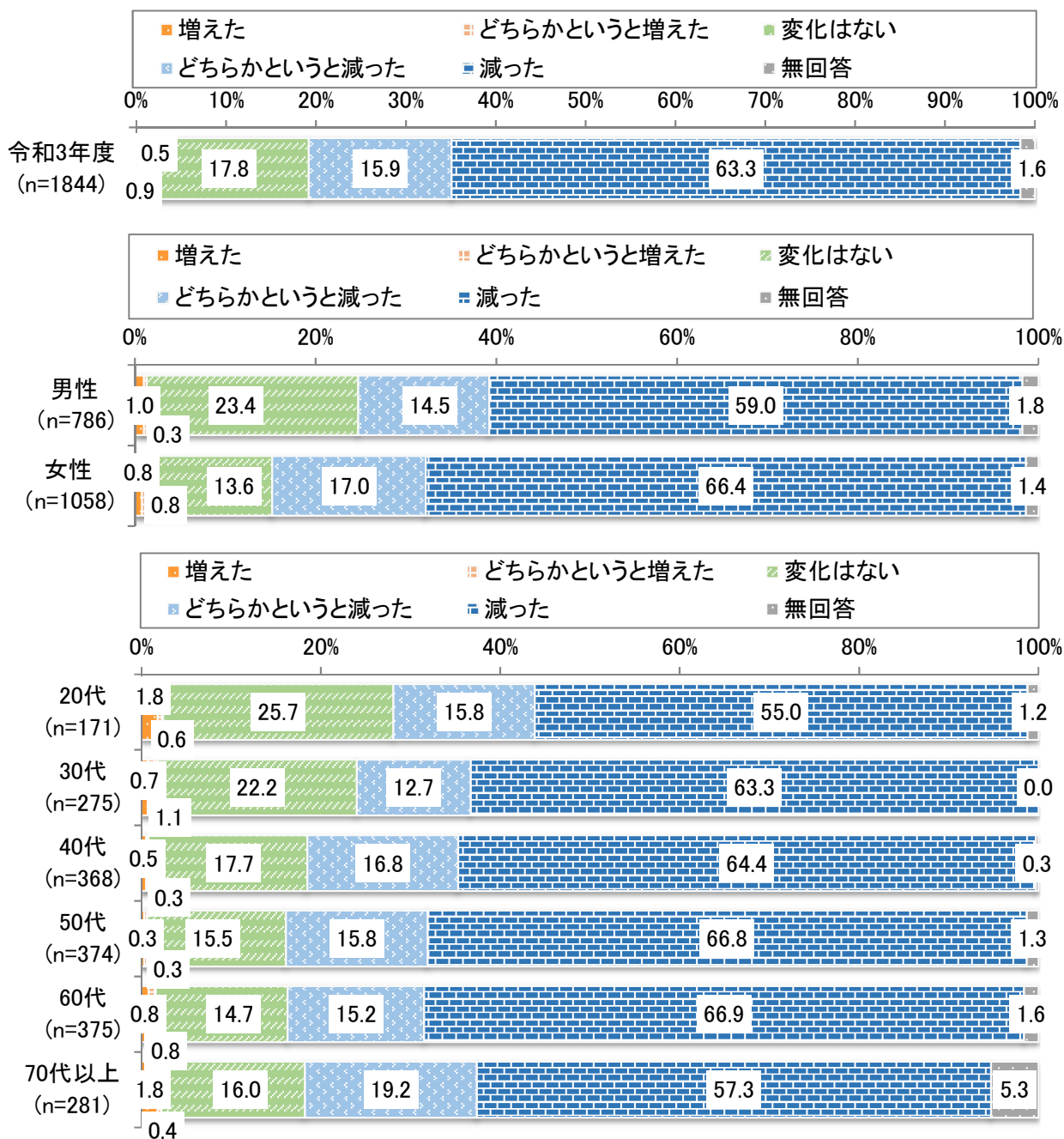
3-2. 新型コロナウイルス感染症の影響について

(1) 公演や展覧会等へ直接行く機会の変化

公演や展覧会等へ直接行く機会の変化について、「減った」(63.3%)の割合が高く、「どちらかという減った」を合わせた割合は79.2%となる。

性別にみると、「変化はない」の割合は女性(13.6%)より男性(23.4%)が高く、9.8ポイント開きがある。

年代別にみると、「変化はない」の割合は20代(25.7%)が最も高く、年代が高くなるにつれて割合は減少し、70代以上(16.0%)で最も低い。

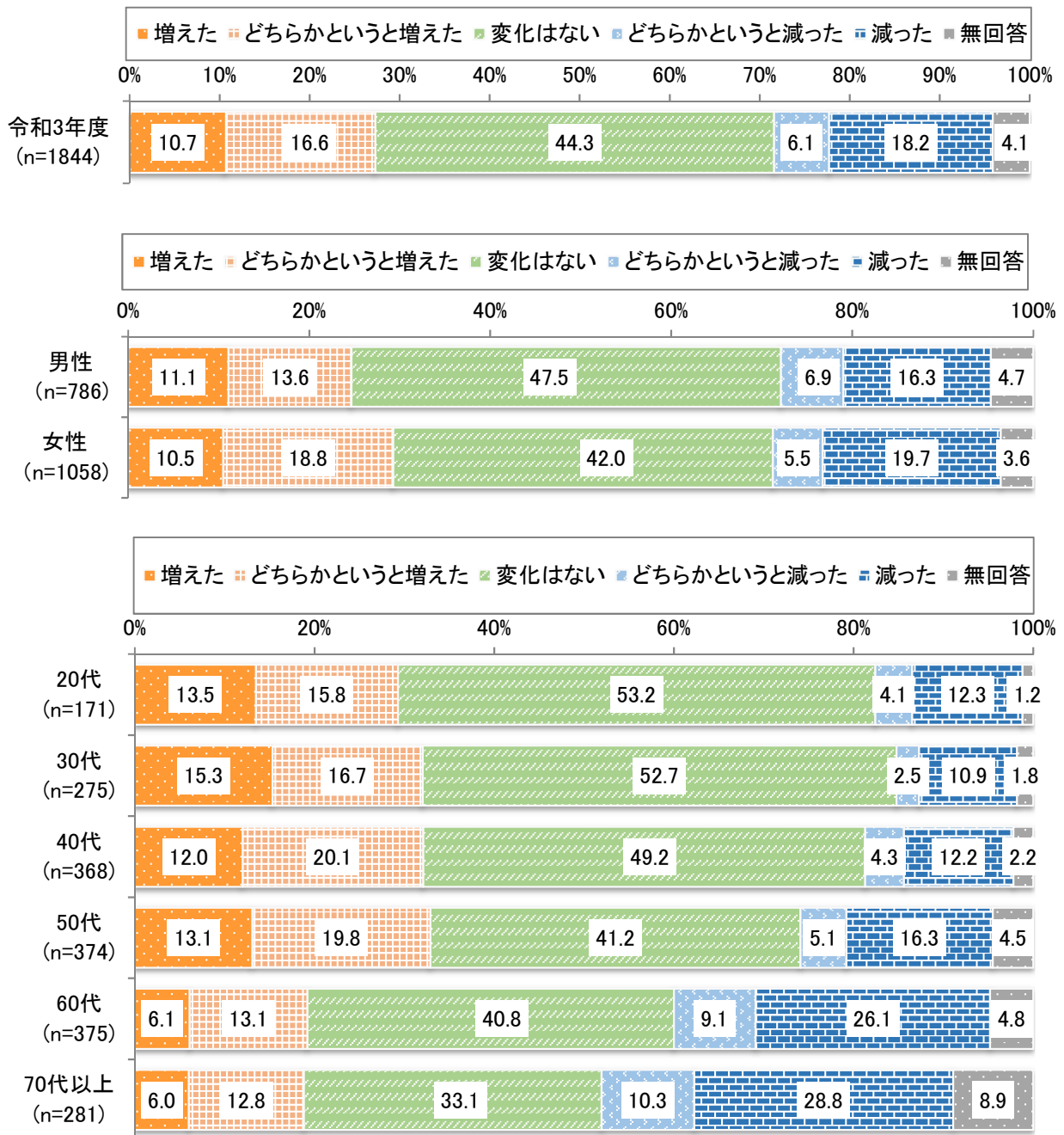


(2) 公演や展覧会等以外の鑑賞機会（オンラインやリモート等）の変化

公演や展覧会以外の鑑賞機会（オンラインやリモート等）の変化について、「変化はない（44.3%）」の割合が最も高くなっている。「増えた」「どちらかというが増えた」を合わせると27.3%となる。

性別にみると、「変化はない」の割合は女性（42.0%）より男性（47.5%）が高くなっている。

年代別にみると、「増えた」「どちらかというが増えた」を合わせた割合をみると、20代から50代では3割に対し、60代、70代以上では2割程度にとどまる。



第1章 県民向けアンケート調査

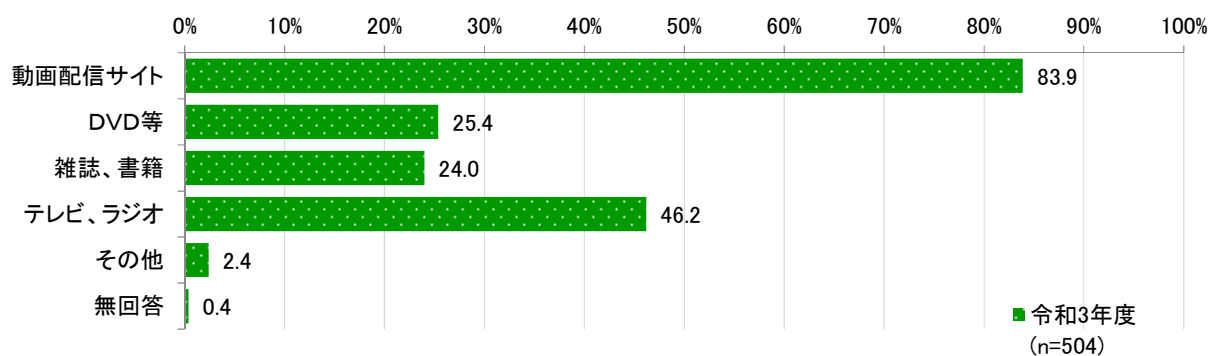
(3) 公演や展覧会等以外の具体的な鑑賞機会的手段

※ (2) で公演や展覧会以外の鑑賞機会（オンラインやリモート等）の変化について「どちらかという増えた」「増えた」の回答者

公演や展覧会等以外の具体的な鑑賞機会的手段について、「動画配信サイト」（83.9%）の割合が最も高く、次いで「テレビ、ラジオ」（46.2%）、「DVD等」（25.4%）となっている。

性別にみると、「雑誌、書籍」の割合は男性（19.1%）より女性（27.1%）が高くなっている。

年代別にみると、「動画配信サイト」では、20～40代で9割と高く、70代以上では37.7%と他の年代よりも低くなっている。

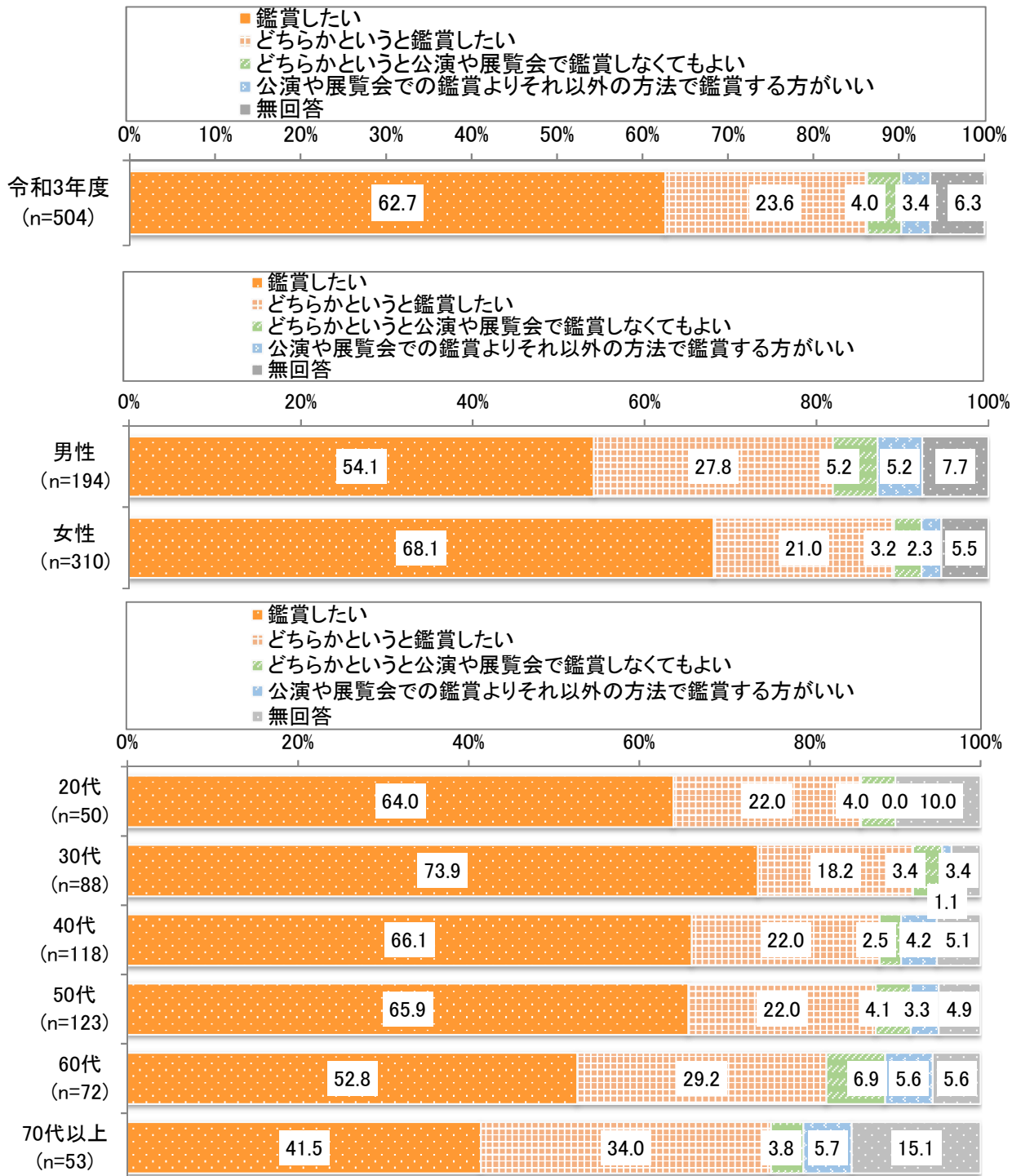


		(%)						
		n=	動画配信サイト	DVD等	雑誌、書籍	テレビ、ラジオ	その他	無回答
全体		504	83.9	25.4	24.0	46.2	2.4	0.4
性別	男性	194	84.0	26.3	19.1	42.3	3.1	0.5
	女性	310	83.9	24.8	27.1	48.7	1.9	0.3
年代別	20代	50	94.0	28.0	14.0	24.0	8.0	2.0
	30代	88	96.6	28.4	22.7	33.0	4.5	-
	40代	118	92.4	21.2	26.3	39.8	0.8	-
	50代	123	86.2	22.8	22.0	50.4	0.8	0.8
	60代	72	77.8	23.6	27.8	63.9	-	-
	70代以上	53	37.7	35.8	30.2	69.8	3.8	-

(4) 新型コロナウイルス感染症収束後の公演や展覧会等での直接鑑賞の希望

※ (2) で公演や展覧会以外の鑑賞機会（オンラインやリモート等）の変化について「どちらかという増えた」「増えた」の回答者

新型コロナウイルス感染症収束後の公演や展覧会等での直接鑑賞の希望について、「鑑賞したい」(62.7%)の割合が最も高く、次いで「どちらかという鑑賞したい」(23.6%)となっている。性別にみると、「鑑賞したい」の割合は男性(54.1%)より女性(68.1%)が高くなっている。年代別にみると、「鑑賞したい」の割合は30代(73.9%)が最も高くなっている。



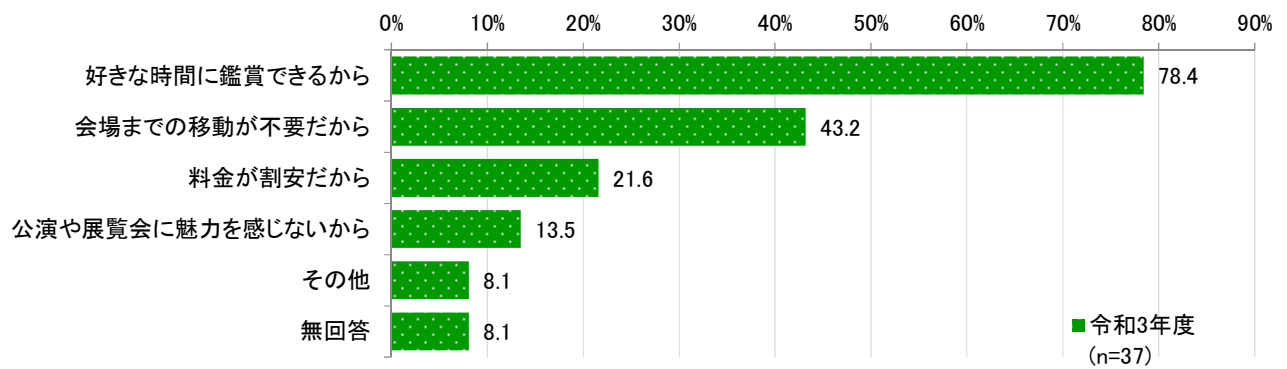
第1章 県民向けアンケート調査

(5) 公演や展覧会以外の方法で鑑賞する方がいい理由

※ (4) で新型コロナウイルス感染症収束後の公演や展覧会等での直接鑑賞の希望について「どちらかという公演や展覧会で鑑賞しなくてもよい」「公演や展覧会での鑑賞よりそれ以外の方法で鑑賞する方がいい」の回答者

公演や展覧会以外の方法で鑑賞する方がいい理由について、「好きな時間に鑑賞できるから」(78.4%)の割合が最も高く、次いで「会場までの移動が不要だから」(43.2%)となっている。

性別にみると、「好きな時間に鑑賞できる」の割合は男性(70.0%)より、女性(88.2%)が高くなっている。



(%)

		n=	好きな時間に鑑賞できるから	料金が割安だから	会場までの移動が不要だから	公演や展覧会に魅力を感じないから	その他	無回答
全体		37	78.4	21.6	43.2	13.5	8.1	8.1
性別	男性	20	70.0	25.0	45.0	20.0	5.0	10.0
	女性	17	88.2	17.6	41.2	5.9	11.8	5.9
年代別	20代	2	100	50.0	-	-	50.0	-
	30代	4	75.0	25.0	50.0	50.0	-	-
	40代	8	100	25.0	50.0	-	12.5	-
	50代	9	55.6	-	44.4	33.3	11.1	-
	60代	9	88.9	44.4	55.6	-	-	11.1
	70代以上	5	60.0	-	20.0	-	-	40.0

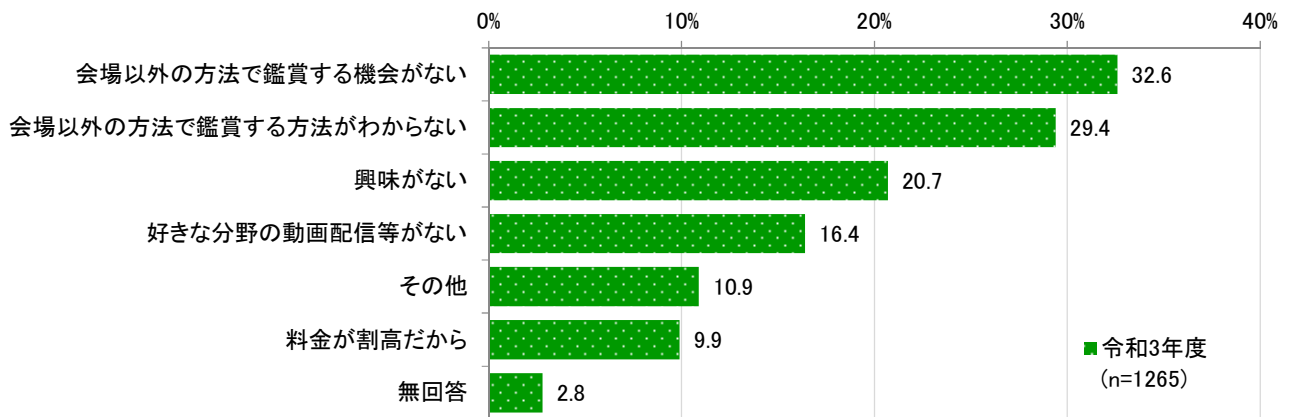
(6) オンラインやリモート等による鑑賞機会が減った、または変わらない理由

※ (2) で公演や展覧会以外の鑑賞機会（オンラインやリモート等）の変化について「変化はない」「どちらかという
と減った」「減った」の回答者

オンラインやリモート等による鑑賞機会が減った、または変わらない理由について、「会場以外の方法
で鑑賞する機会がない」（32.6%）の割合が最も高く、次いで「会場以外の方法で鑑賞する方法がわから
ない」（29.4%）、「興味がない」（20.7%）となっている。

性別にみると、「好きな分野の動画配信等がない」、「興味がない」の割合は女性（13.4%）より男性
（20.2%）で高くなっている。

年代別にみると、「会場以外の方法で鑑賞する方法がわからない」の割合は50代以上では全体（29.4%）
よりも高く、特に70代以上（36.9%）で最も高くなっている。



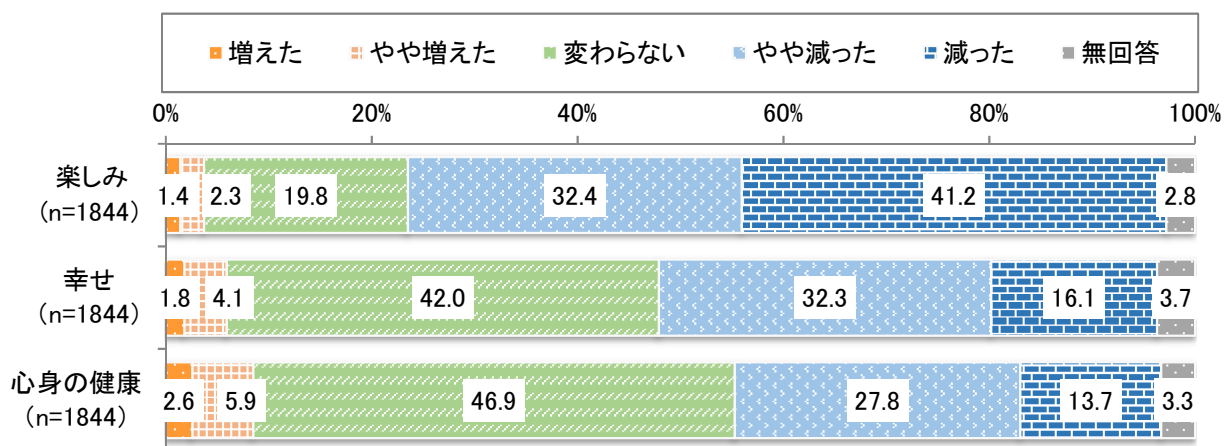
(%)

		n=	好きな分野 の動画配信 等がない	料金が割高 だから	興味がない	会場以外 の方法で鑑賞 する機会が ない	会場以外 の方法で鑑賞 する方法が わからない	その他	無回答
全体		1265	16.4	9.9	20.7	32.6	29.4	10.9	2.8
性別	男性	555	20.2	9.0	25.6	27.9	26.7	8.5	2.5
	女性	710	13.4	10.6	16.9	36.3	31.5	12.8	3.0
年代別	20代	119	25.2	7.6	32.8	30.3	23.5	5.9	1.7
	30代	182	18.1	14.3	19.2	36.3	22.0	15.9	0.5
	40代	242	18.6	11.6	20.7	33.1	26.4	13.2	1.7
	50代	234	17.5	9.8	20.9	29.9	31.2	9.4	0.9
	60代	285	11.9	10.5	17.2	30.2	32.3	11.6	4.9
	70代 以上	203	11.8	4.4	19.7	36.9	36.9	7.4	5.9

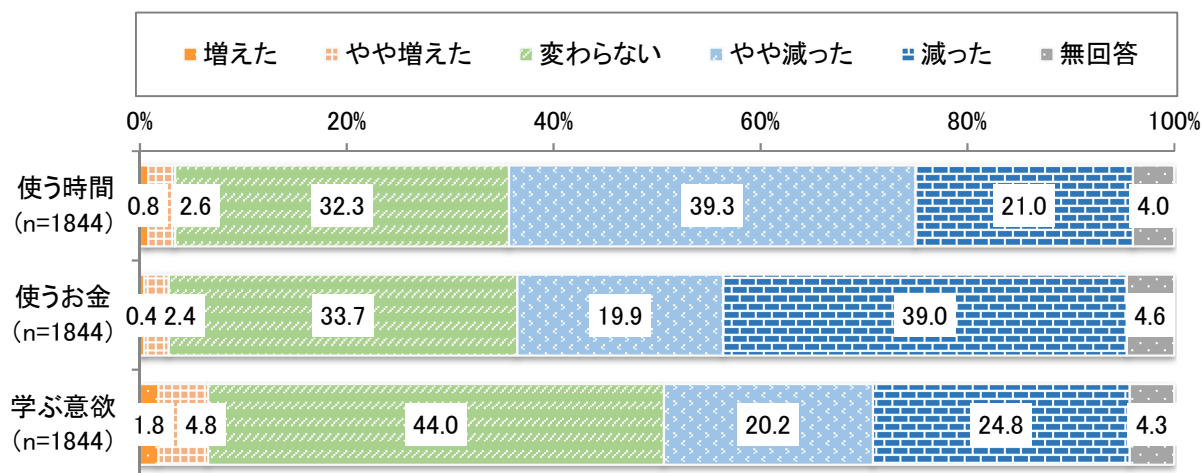
第1章 県民向けアンケート調査

(7) 感染症による生活や文化活動の変化

<生活の質に関して>



<芸術文化活動に関して>



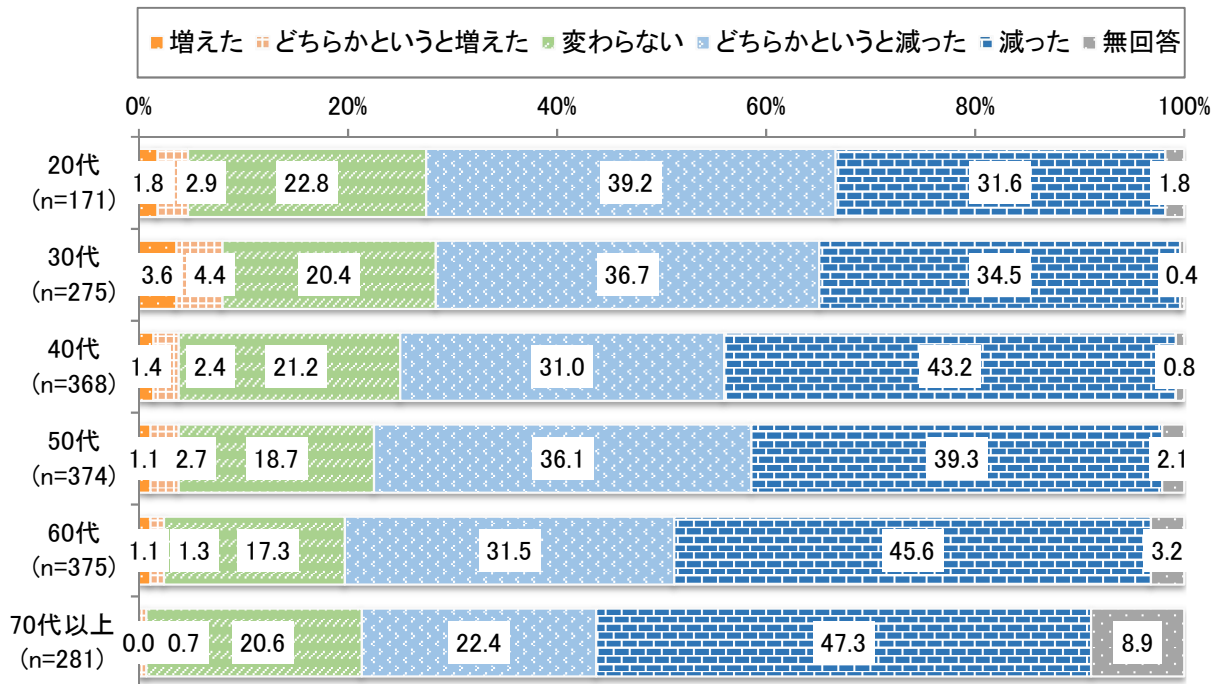
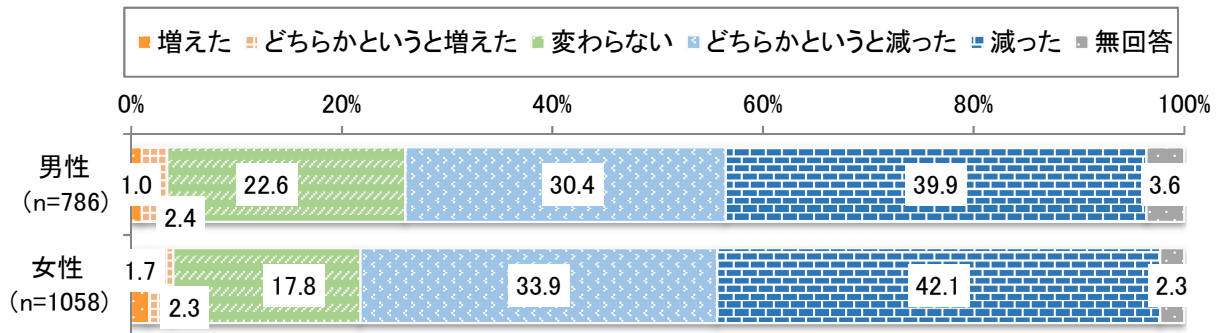
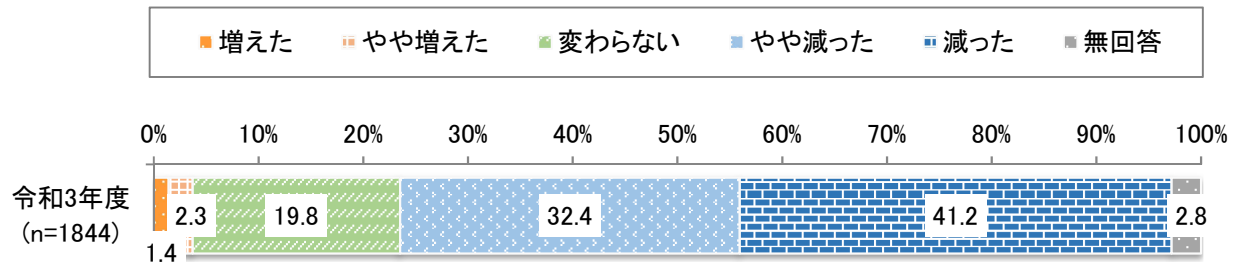
<生活の質に関して>

① 楽しみ

生活の質に関して楽しみは「減った」（41.2%）の割合が最も高く、「やや減った」と合わせると7割を超える。

性別にみると、「変化はない」の割合は男性（22.6%）より、女性（17.8%）が低くなっている。

年代別にみると、「増えた」「どちらかという増えた」を合わせた割合は30代（8.0%）が他の年代よりも高くなっている。



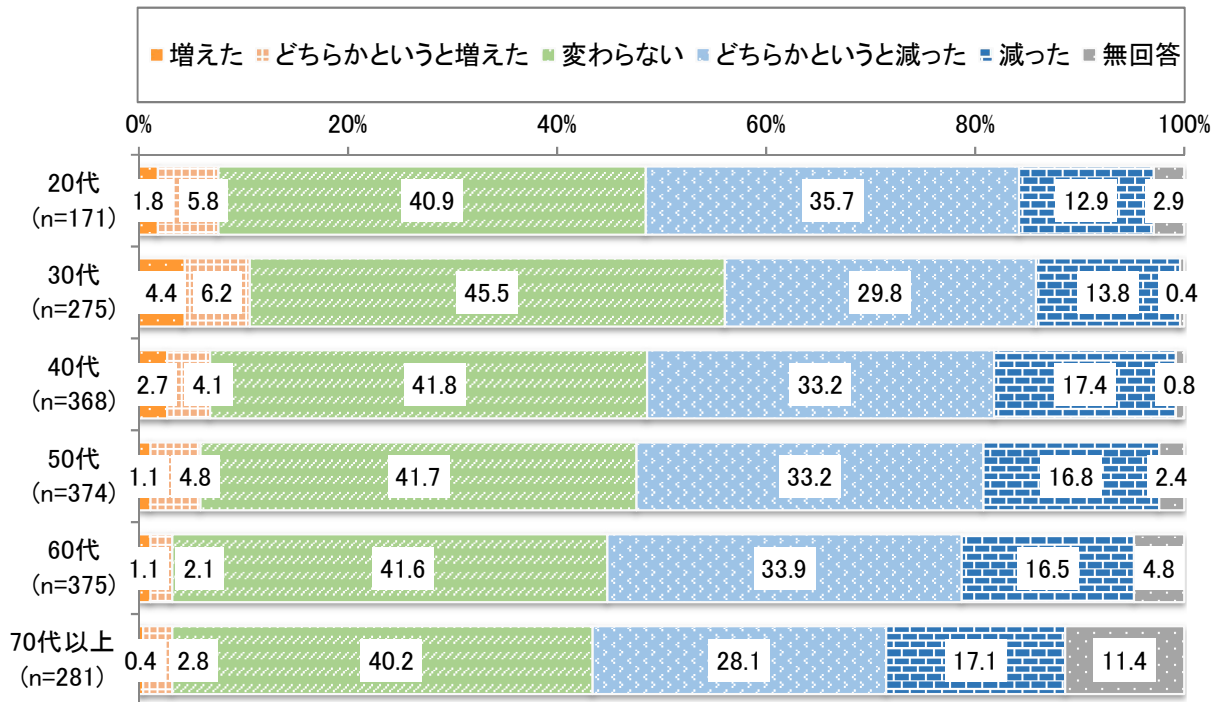
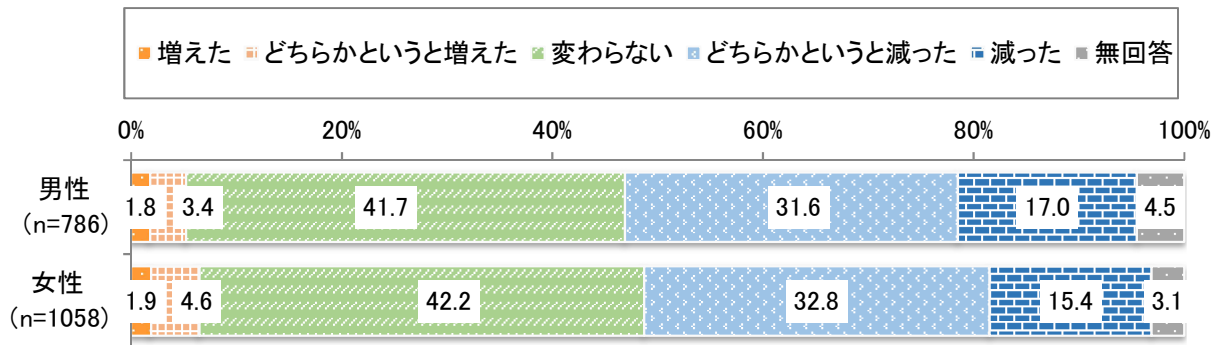
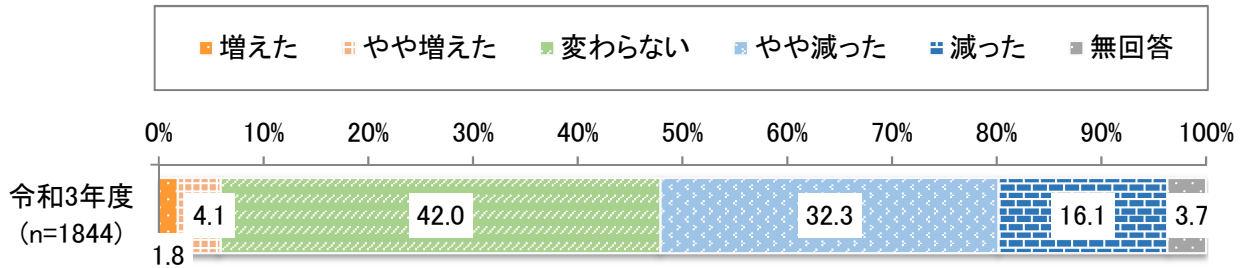
第1章 県民向けアンケート調査

② 幸せ

幸せについて、「変わらない」（42.0%）の割合が最も高く、次いで「やや減った」（32.3%）となっている。

性別にみると、男女による差はあまり見られない。

年代別に見ると、30代以降は年代が高くなるにつれて、幸せを感じる事が減った割合が増加している。

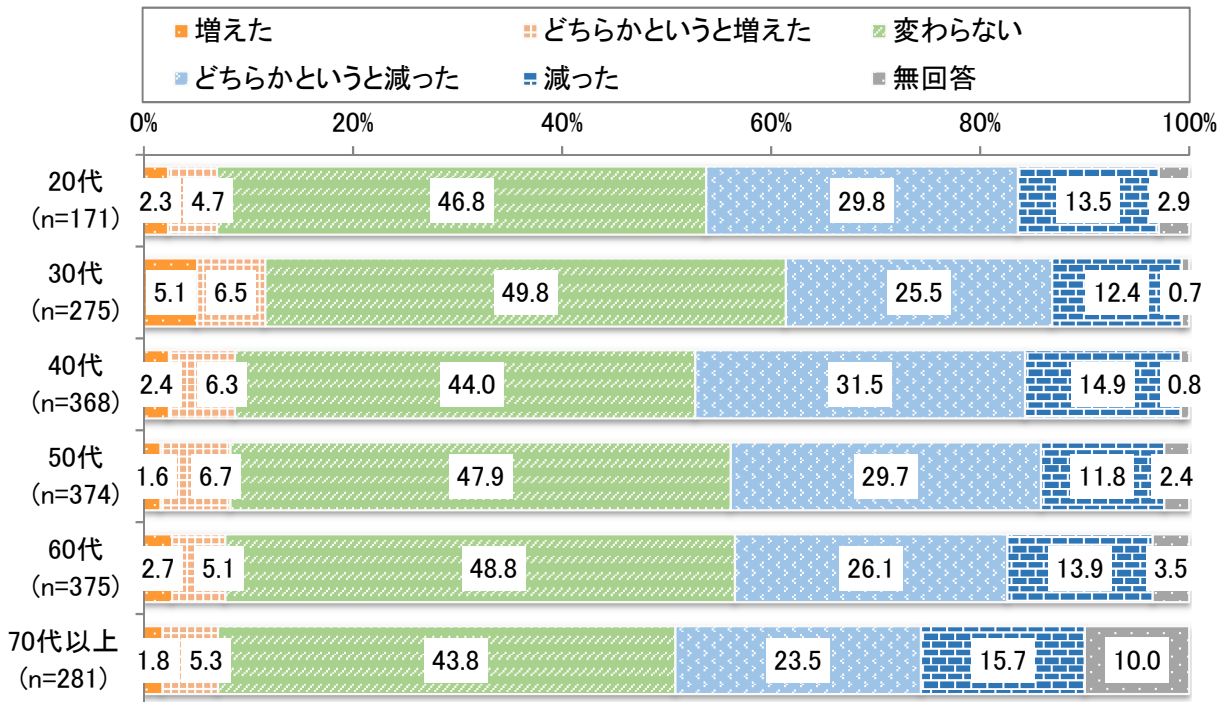
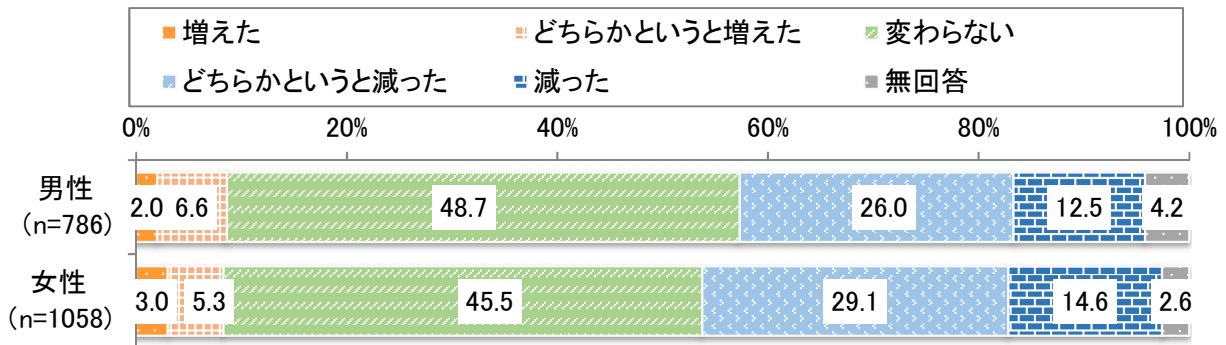
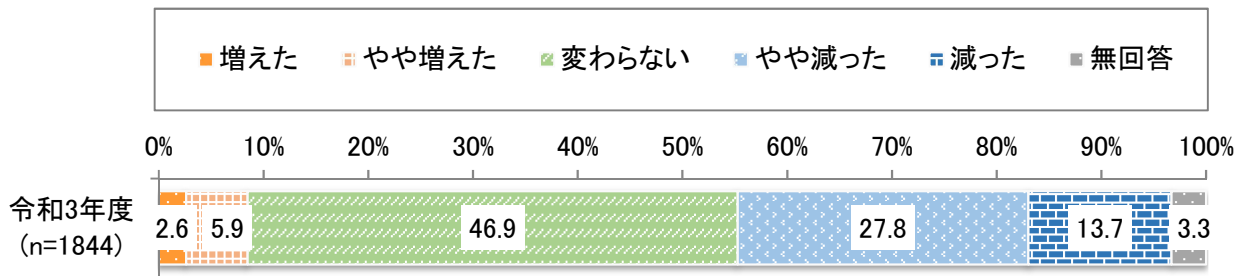


③ 心身の健康

心身の健康について、「変わらない」（46.9%）の割合が最も高く、次いで「やや減った（27.8%）」となっている。

性別にみると、男女による差はあまり見られない。

年代別に見ると、30代以降は年代が高くなるにつれて、心身の健康を感じる割合が減少している。



第1章 県民向けアンケート調査

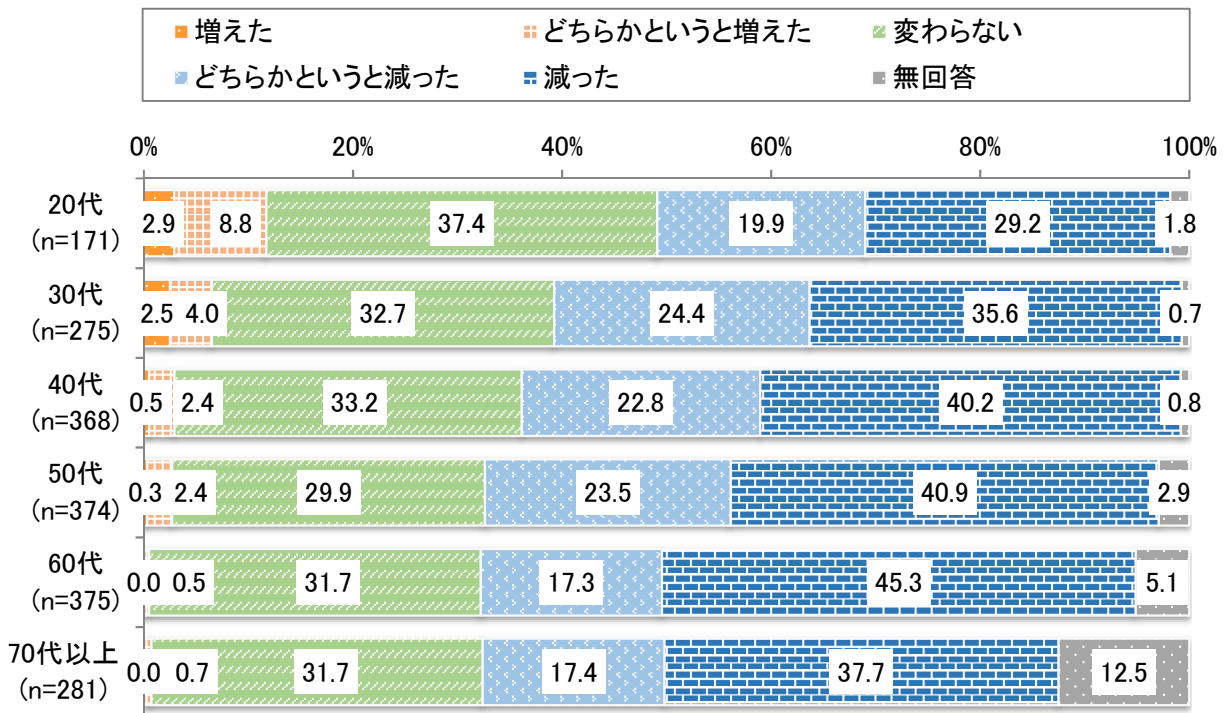
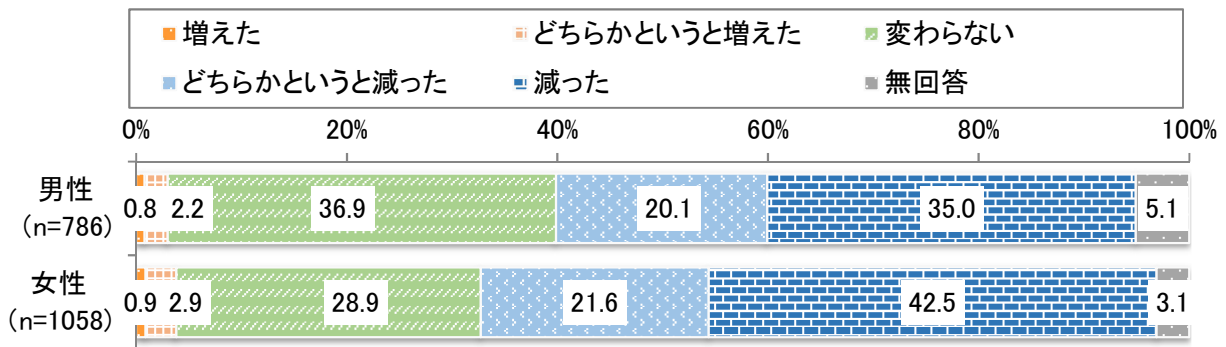
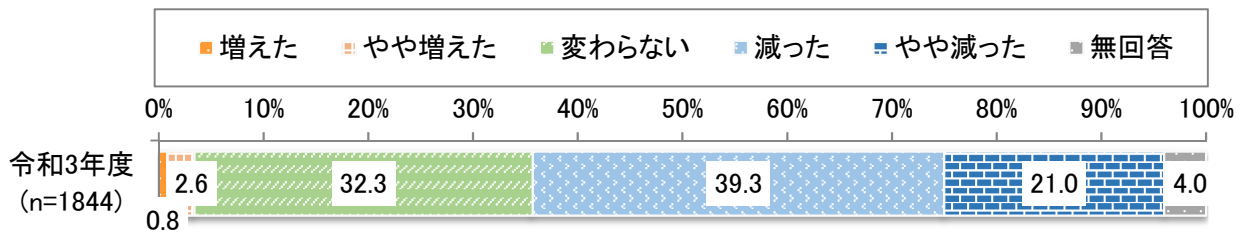
<芸術文化活動に関して>

① 文化芸術活動に使う時間

文化芸術活動に使う時間について、「減った」(39.3%)の割合が最も高く、「やや減った」と合わせると6割を超える。

性別にみると、「変化はない」の割合は男性(36.9%)より、女性(28.9%)が低くなっている。

年代別にみると、20代を除くすべての年代で「どちらかというが減った」「減った」を合わせた割合が5割を超える。

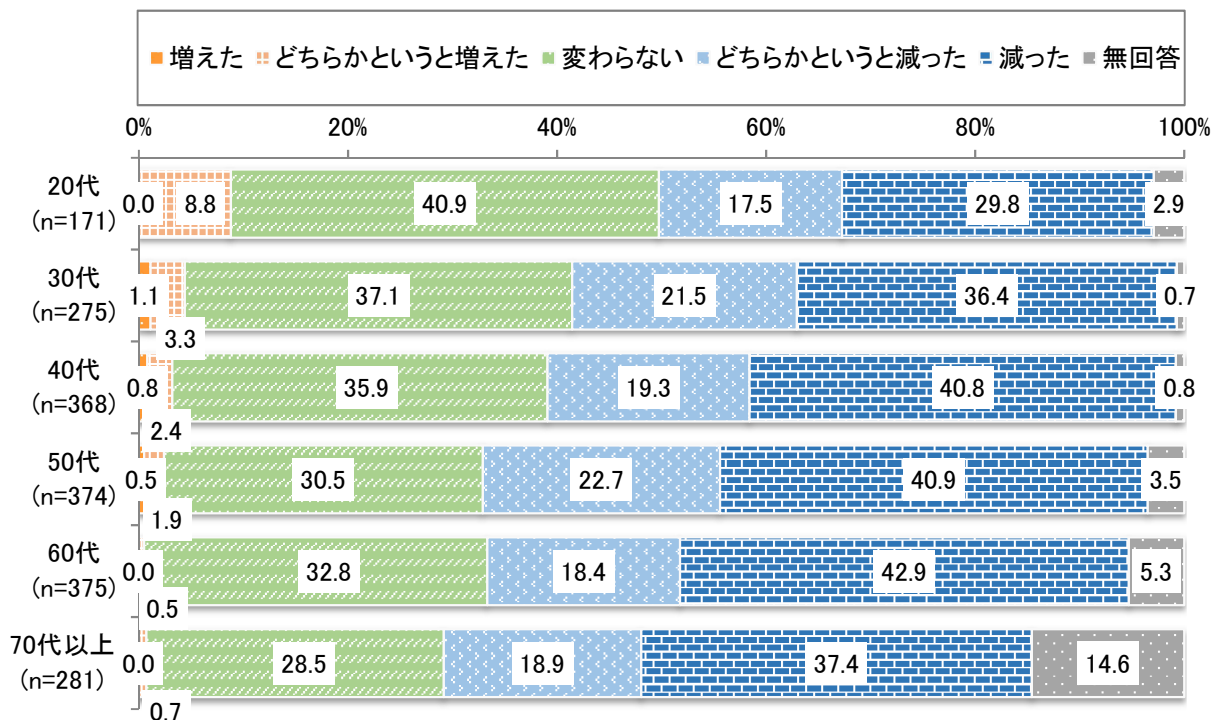
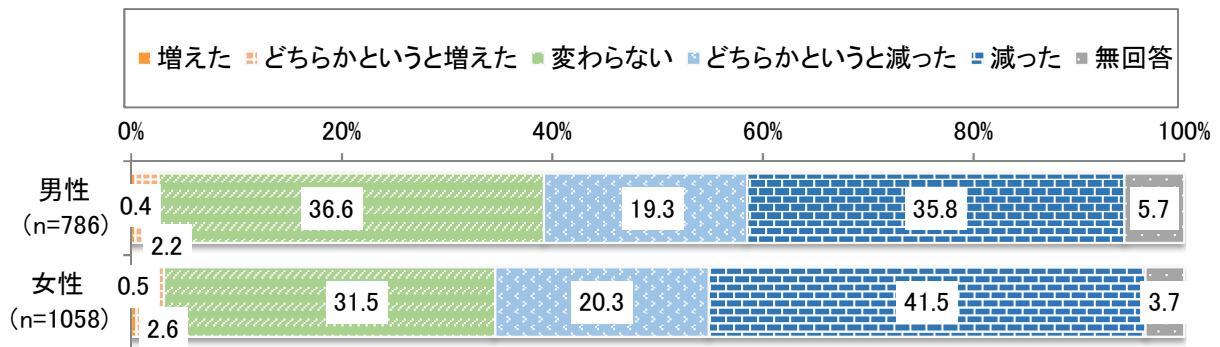
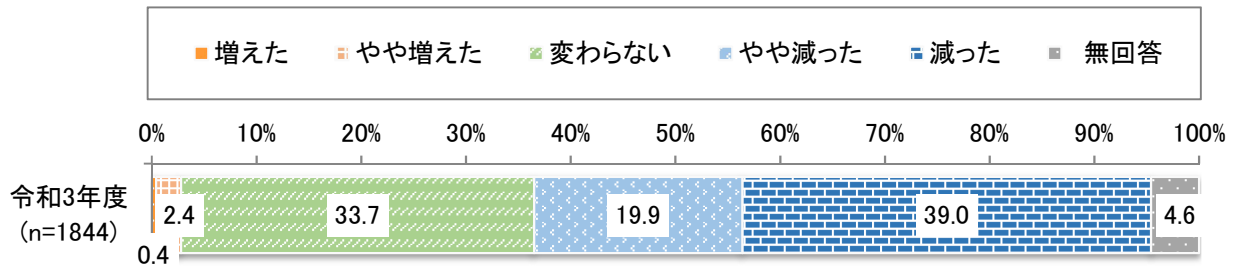


② 文化芸術活動に使うお金

文化芸術活動に使うお金について、「減った」(39.0%)の割合が最も高く、次いで「変わらない」(33.7%)となっている。

性別にみると、「減った」の割合は男性(35.8%)より女性(41.5%)が高くなっている。

年代別にみると、「どちらかというが増えた」の割合は20代(8.8%)で最も高く、年代が高くなるにつれて割合が減少している。



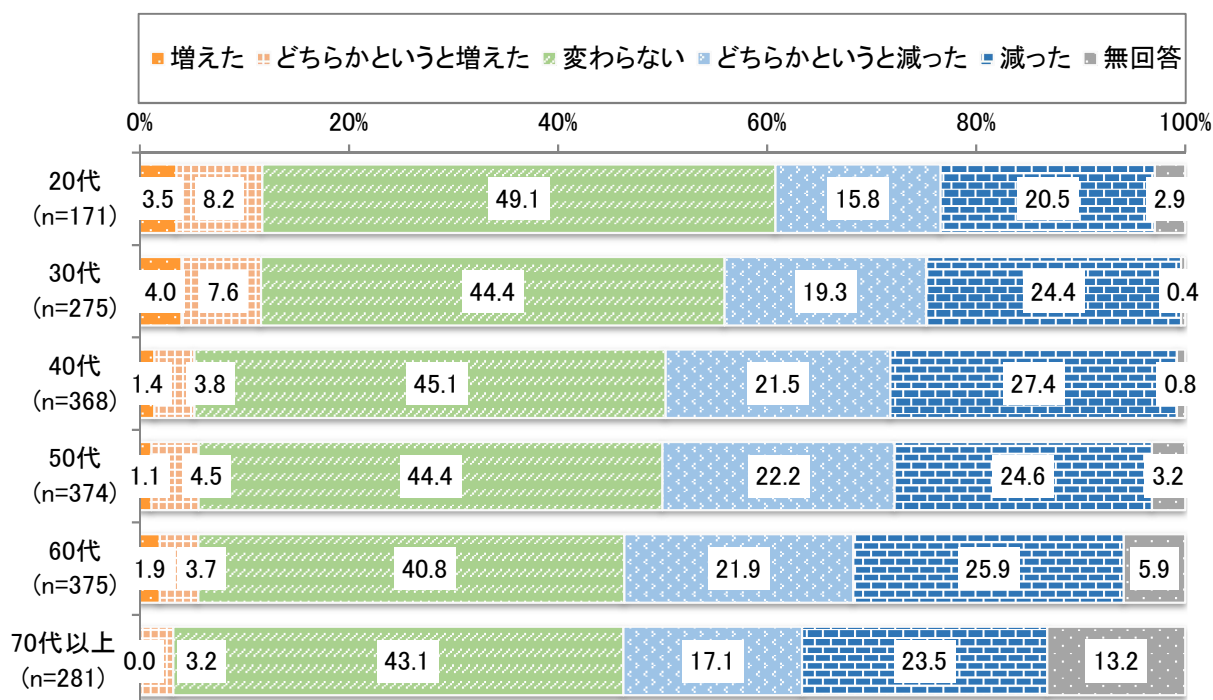
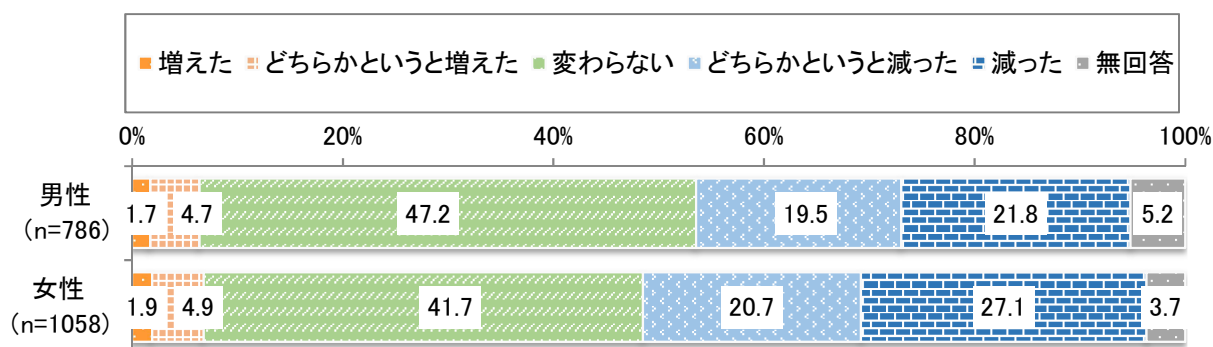
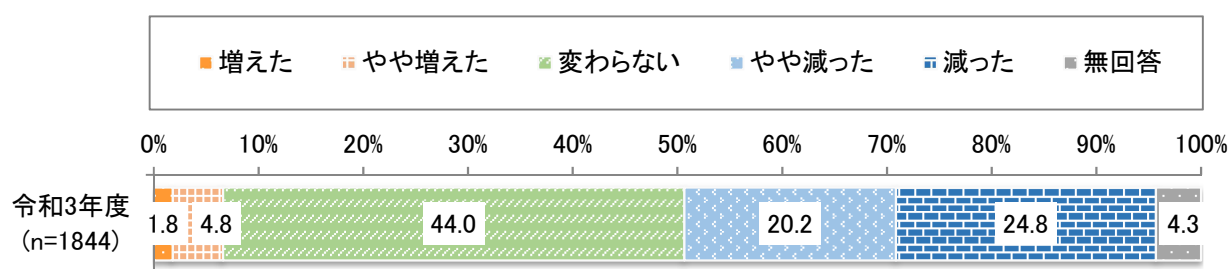
第1章 県民向けアンケート調査

③ 文化芸術活動について学ぶ意欲

文化芸術活動について学ぶ意欲をみると、「変わらない」（44.0％）の割合が最も高く、次いで「減った」（24.8％）、「やや減った」（20.2％）となっている。

性別にみると、「変化はない」の割合は男性（47.2％）よりも女性（41.7％）が高くなっている。

年代別にみると、「増えた」「どちらかというが増えた」を合わせた割合は、20代（11.7％）、30代（11.6％）、30代（11.6％）で他の年代よりも高くなっている。



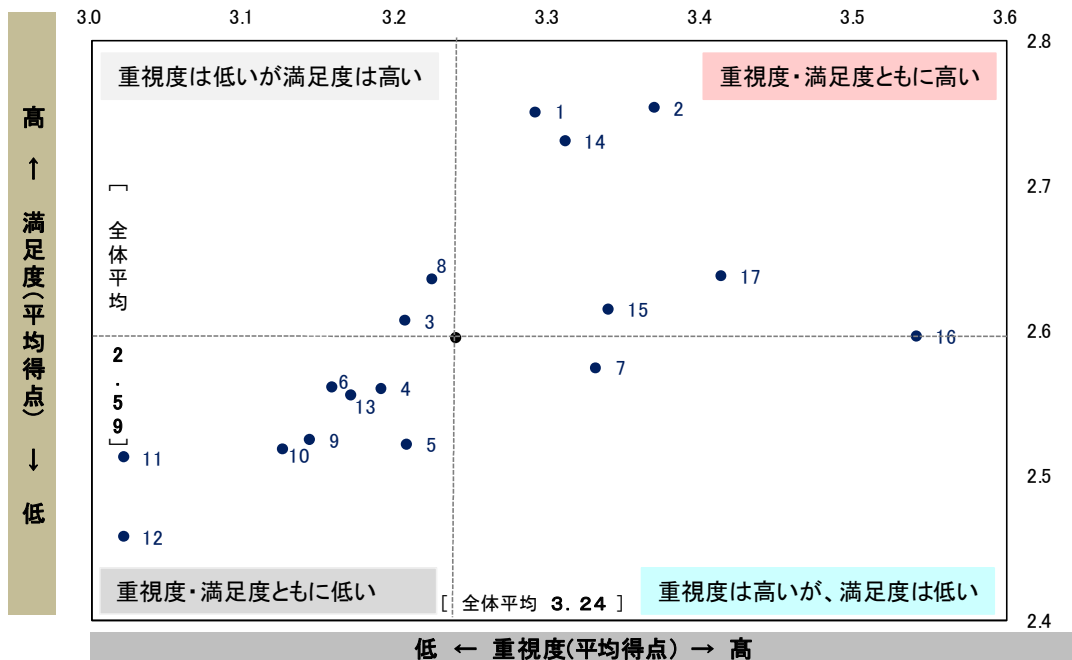
3-3. 文化・芸術に対する重視度、満足度について

(1) 文化芸術に対する重視度・満足度の関係

必要な事項17項目の重視度・満足度の平均点を算出し、その関係性から県民ニーズの状態を4つの区分に分類した。(下図)

「16.子どもが文化に親しむ機会の提供」、「2.地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること」「17.文化・芸術に関する総合的な満足度」「1.県民が文化芸術にふれる機会が増加していること」「14.文化財や歴史的遺産の観光等への活用」「15.伝統芸能の公開や後継者育成の促進」の6項目は、県民にとって重視度・満足度ともに高い項目であることから、現状の沖縄文化活動施策の強みとして、引き続き維持、強化していくことが必要である。

一方、「7.質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実」の1項目は、相対的に重視度が高いにもかかわらず満足度が低いことから、ニーズに対する取組みの強化が求められる施策であると考えられる。



第二象限	第一象限
8. 文化・芸術施設の整備、既存施設の活用 3. 県民の文化・芸術活動に関する情報量	16. 子どもが文化に親しむ機会の提供 2. 地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること 17. 文化・芸術に関する総合的な満足度 1. 県民が文化芸術にふれる機会が増加していること 14. 文化財や歴史的遺産の観光等への活用 15. 伝統芸能の公開や後継者育成の促進
第三象限	第四象限
12. 外国人との文化交流・相互理解の促進 11. 県内の大学との連携による公演・講座の実施 10. 地元の芸術家の掘り起こし・支援 9. 練習・発表・創作等の活動に対する支援 6. 文化・芸術活動の指導者や研究者の養成 5. 講座などの多様な学習・体験機会 13. 文化財保護のためのPRや人材の育成 4. 県民の文化・芸術活動に関する情報の提供方法	7. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実

第1章 県民向けアンケート調査

① 重視度の平均得点（5段階評価全体）

重視度（17項目）に対する回答の割合は以下のとおりである。

このうち、重視度が高い（5+4）の比率に着目してみると、「16. 子どもが文化に親しむ機会の提供」（55.4%）が最も高く、次いで「17. 文化・芸術に関する総合的な重視度」（50.9%）、「2. 地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んである」（49.4%）となっている。

前回調査（H27）と比較すると、比率の伸びが最も大きい項目は「16. 子どもが文化に親しむ機会の提供」で13.9ポイント以上伸びており、特に重視する人の割合が高まっているといえる。

調査項目	重視度 (%)						重視度 (%)		平成27年度 (%)	
	重視度 高い 5	重視度 4	重視度 3	重視度 2	重視度 低い 1	無回答	重視度 (5+4) 計	重視度 (2+1) 計	重視度 (5+4) 計	重視度 (2+1) 計
1. 県民が文化芸術にふれる機会が増加していること	16.9	28.5	33.7	11.7	5.9	3.3	45.4	17.6	41.8	13.3
2. 地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること	19.0	30.4	30.2	11.9	5.5	2.9	49.4	17.4	43.1	17.7
3. 県民の文化・芸術活動に関する情報量	15.8	24.3	36.3	14.8	5.9	2.9	40.1	20.7	33.9	20.9
4. 県民の文化・芸術活動に関する情報の提供方法	15.9	24.2	35.0	15.9	5.8	3.1	40.1	21.7	32.4	21.9
5. 講座などの多様な学習・体験機会	18.6	23.0	32.4	15.7	7.1	3.2	41.6	22.8	33.0	25.4
6. 文化・芸術活動の指導者や研究者の養成	17.6	22.2	33.6	15.3	7.6	3.7	39.8	22.9	33.3	25.8
7. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	22.0	24.9	29.6	14.4	6.0	3.1	46.9	20.4	44.2	15.3
8. 文化・芸術施設の整備、既存施設の活用	18.2	22.8	35.6	13.3	6.3	3.7	41.0	19.6	33.1	21.7
9. 練習・発表・創作等の活動に対する支援	16.7	21.9	34.7	16.1	7.2	3.5	38.6	23.3	29.8	28.6
10. 地元の芸術家の掘り起こし・支援	16.4	23.8	31.7	16.0	8.6	3.6	40.2	24.6	28.8	29.6
11. 県内の大学との連携による公演・講座の実施	13.0	20.7	37.4	17.1	8.1	3.7	33.7	25.2	27.6	28.4
12. 外国人との文化交流・相互理解の促進	14.0	22.5	32.2	17.7	9.9	3.6	36.5	27.6	28.0	30.7
13. 文化財保護のためのPRや人材の育成	16.4	25.3	31.9	15.2	7.8	3.4	41.7	23.0	29.9	25.2
14. 文化財や歴史的遺産の観光等への活用	20.1	26.5	30.9	12.9	6.3	3.4	46.6	19.2	41.5	17.5
15. 伝統芸能の公開や後継者育成の促進	22.3	25.0	29.8	13.4	6.1	3.4	47.3	19.5	38.0	20.0
16. 子どもが文化に親しむ機会の提供	33.6	21.8	22.0	13.4	6.1	3.1	55.4	19.5	41.5	22.7
17. 文化・芸術に関する総合的な重視度	22.3	28.6	29.1	11.5	5.3	3.3	50.9	16.8	44.2	15.3

② 満足度（5段階評価全体）

満足度(17項目)に対する満足度の回答は以下のとおりである。

このうち、満足度が高い(5+4)の比率に着目してみると、「2.地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んである」(21.0%)が最も高く、次いで「14.文化財や歴史的遺産の観光等への活用」(20.4%)、「1.県民が文化芸術にふれる機会が増加していること」(19.9%)となっている。

前回調査（H27）と比較すると、比率の伸びが最も大きい項目は「8.文化・芸術施設の整備、既存施設の活用」で7.2ポイント以上伸びており、満足度の割合が高まっているといえる。

調査項目	満足度						満足度		平成27年度	
	満足度 高い 5	満足度 4	満足度 3	満足度 2	満足度 低い 1	無回答	満足度 (5+4) 計	満足度 (2+1) 計	満足度 (5+4) 計	満足度 (2+1) 計
1. 県民が文化芸術にふれる機会が増加していること	4.0	15.9	46.9	21.8	7.4	4.0	19.9	29.2	26.0	23.1
2. 地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること	4.0	17.0	45.2	22.4	6.9	4.5	21.0	29.3	21.3	30.6
3. 県民の文化・芸術活動に関する情報量	2.7	11.9	46.0	26.5	8.6	4.3	14.6	35.1	12.1	36.0
4. 県民の文化・芸術活動に関する情報の提供方法	2.5	10.3	46.1	27.5	8.8	4.7	12.8	36.3	11.4	39.0
5. 講座などの多様な学習・体験機会	3.0	9.4	43.8	28.9	10.2	4.7	12.4	39.1	12.0	40.0
6. 文化・芸術活動の指導者や研究者の養成	2.4	9.5	48.5	25.9	8.5	5.2	11.9	34.4	12.4	40.0
7. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	3.0	11.8	44.1	27.2	8.5	5.4	14.8	35.7	12.4	40.0
8. 文化・芸術施設の整備、既存施設の活用	3.9	11.6	47.1	24.3	7.9	5.2	15.5	32.2	8.3	43.6
9. 練習・発表・創作等の活動に対する支援	2.4	9.2	46.8	27.2	9.1	5.4	11.6	36.3	8.2	41.2
10. 地元の芸術家の掘り起こし・支援	3.0	9.1	45.1	27.9	9.8	5.2	12.1	37.7	8.3	43.6
11. 県内の大学との連携による公演・講座の実施	2.7	8.6	46.9	26.8	9.5	5.6	11.3	36.3	8.1	41.3
12. 外国人との文化交流・相互理解の促進	2.7	8.6	42.7	29.1	11.4	5.4	11.3	40.5	9.8	42.6
13. 文化財保護のためのPRや人材の育成	3.1	9.7	46.5	26.3	8.9	5.4	12.8	35.2	9.9	38.5
14. 文化財や歴史的遺産の観光等への活用	5.1	15.3	45.0	21.7	7.6	5.2	20.4	29.3	19.0	29.3
15. 伝統芸能の公開や後継者育成の促進	3.7	11.2	47.3	23.8	8.5	5.4	14.9	32.3	11.4	36.6
16. 子どもが文化に親しむ機会の提供	5.0	11.8	40.3	28.2	9.7	4.9	16.8	37.9	14.0	40.1
17. 文化・芸術に関する総合的な満足度	3.4	10.5	50.2	23.4	7.4	5.1	13.9	30.8	12.1	32.1

第1章 県民向けアンケート調査

(2) 重視度・満足度の平均得点

① 重視度平均得点

項目ごとに平均を算出し重視度の平均得点は以下のとおりである。

重視度の高い項目は「16.子どもが文化に親しむ機会の提供」(3.54 ポイント)が最も高く、次いで「17.文化・芸術に関する総合的な満足度」(3.41 ポイント)、「2.地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること」(3.37 ポイント)となっている。

前回調査(H27)と比較すると、比率の伸びが最も大きい項目は「16.子どもが文化に親しむ機会の提供」は0.12ポイント伸びており、重視度の割合が高まっているといえる。

(点)

調査項目	令和 3年度	平成 27年度	性別		年代別					
	重視度 平均 得点	重視度 平均 得点	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代 以上
1. 県民が文化芸術にふれる機会が増加していること	3.29	3.44	3.23	3.34	3.57	3.67	3.42	3.31	3.11	2.80
2. 地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること	3.37	3.41	3.30	3.42	3.67	3.77	3.57	3.38	3.13	2.84
3. 県民の文化・芸術活動に関する情報量	3.21	3.24	3.12	3.27	3.53	3.56	3.34	3.22	3.04	2.67
4. 県民の文化・芸術活動に関する情報の提供方法	3.19	3.21	3.10	3.26	3.53	3.52	3.36	3.25	2.99	2.62
5. 講座などの多様な学習・体験機会	3.21	3.17	3.06	3.32	3.49	3.67	3.43	3.22	2.96	2.60
6. 文化・芸術活動の指導者や研究者の養成	3.16	3.17	3.08	3.22	3.36	3.48	3.40	3.19	2.97	2.60
7. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	3.33	3.35	3.24	3.40	3.57	3.67	3.60	3.42	3.06	2.76
8. 文化・芸術施設の整備、既存施設の活用	3.22	3.22	3.14	3.29	3.57	3.55	3.44	3.31	2.94	2.66
9. 練習・発表・創作等の活動に対する支援	3.14	3.09	3.04	3.22	3.43	3.53	3.39	3.16	2.91	2.56
10. 地元の芸術家の掘り起こし・支援	3.12	3.05	3.07	3.17	3.44	3.48	3.36	3.13	2.94	2.52
11. 県内の大学との連携による公演・講座の実施	3.02	3.02	2.92	3.10	3.27	3.21	3.28	3.06	2.88	2.48
12. 外国人との文化交流・相互理解の促進	3.02	2.99	2.99	3.05	3.39	3.28	3.31	3.08	2.80	2.39
13. 文化財保護のためのPRや人材の育成	3.17	3.12	3.14	3.19	3.42	3.41	3.39	3.22	2.99	2.66
14. 文化財や歴史的遺産の観光等への活用	3.31	3.40	3.29	3.33	3.58	3.51	3.46	3.37	3.18	2.84
15. 伝統芸能の公開や後継者育成の促進	3.34	3.35	3.28	3.38	3.64	3.61	3.53	3.34	3.18	2.85
16. 子どもが文化に親しむ機会の提供	3.54	3.42	3.47	3.59	3.97	4.08	3.81	3.47	3.26	2.86
17. 文化・芸術に関する総合的な重視度	3.41	3.46	3.35	3.46	3.70	3.75	3.60	3.41	3.24	2.90

※上位5項目を赤字表記、背景赤色

② 満足度平均得点

項目ごとに平均を算出し満足度の平均得点は以下のとおりである。

満足度の高い項目は「1.県民が文化芸術にふれる機会が増加していること」、「2.地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること」(2.75ポイント)が同率で最も高く、次いで「14.文化財や歴史的遺産の観光等への活用」(2.73ポイント)となっている。

前回調査(H27)と比較すると、「10.地元の芸術家の掘り起こし・支援」は 0.02 ポイント伸びているが、その他の項目は全て前回調査結果を下回っている。

(点)

調査項目	令和3年度	平成27年度	性別		年代別					
	満足度平均得点	満足度平均得点	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上
	1. 県民が文化芸術にふれる機会が増加していること	2.75	3.03	2.72	2.77	2.94	2.83	2.79	2.76	2.65
2. 地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること	2.75	2.88	2.71	2.79	2.93	2.85	2.88	2.76	2.63	2.53
3. 県民の文化・芸術活動に関する情報量	2.61	2.69	2.59	2.62	2.65	2.68	2.68	2.68	2.50	2.44
4. 県民の文化・芸術活動に関する情報の提供方法	2.56	2.63	2.54	2.57	2.68	2.65	2.68	2.61	2.45	2.32
5. 講座などの多様な学習・体験機会	2.52	2.6	2.47	2.56	2.71	2.61	2.64	2.57	2.39	2.28
6. 文化・芸術活動の指導者や研究者の養成	2.56	2.6	2.53	2.58	2.70	2.69	2.68	2.58	2.42	2.36
7. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	2.57	2.61	2.55	2.59	2.95	2.65	2.62	2.60	2.46	2.35
8. 文化・芸術施設の整備、既存施設の活用	2.64	2.71	2.62	2.65	3.02	2.78	2.75	2.64	2.45	2.37
9. 練習・発表・創作等の活動に対する支援	2.52	2.55	2.49	2.55	2.80	2.63	2.62	2.54	2.42	2.27
10. 地元の芸術家の掘り起こし・支援	2.52	2.5	2.46	2.56	2.77	2.62	2.65	2.54	2.37	2.26
11. 県内の大学との連携による公演・講座の実施	2.51	2.54	2.49	2.53	2.81	2.67	2.66	2.55	2.35	2.16
12. 外国人との文化交流・相互理解の促進	2.46	2.52	2.44	2.47	2.74	2.60	2.64	2.53	2.25	2.08
13. 文化財保護のためのPRや人材の育成	2.56	2.6	2.54	2.57	2.81	2.73	2.67	2.59	2.40	2.25
14. 文化財や歴史的遺産の観光等への活用	2.73	2.84	2.72	2.74	3.10	2.95	2.80	2.74	2.54	2.45
15. 伝統芸能の公開や後継者育成の促進	2.61	2.65	2.60	2.63	2.83	2.68	2.73	2.64	2.49	2.42
16. 子どもが文化に親しむ機会の提供	2.60	2.64	2.60	2.59	2.98	2.67	2.71	2.62	2.43	2.33
17. 文化・芸術に関する総合的な満足度	2.64	2.73	2.62	2.65	2.94	2.77	2.73	2.65	2.49	2.39

※上位5項目を赤字表記、背景赤色

第1章 県民向けアンケート調査

(3) 重視度・満足度の性別・年代別平均得点

(点)

調査項目	全体		性別				年代別											
	重視度	満足度	男性		女性		20代		30代		40代		50代		60代		70代以上	
			重視度	満足度	重視度	満足度	重視度	満足度	重視度	満足度	重視度	満足度	重視度	満足度	重視度	満足度	重視度	満足度
1. 県民が文化芸術にふれる機会が増加していること	3.29	2.75	3.23	2.72	3.34	2.77	3.57	2.94	3.67	2.83	3.42	2.79	3.31	2.76	3.11	2.65	2.80	2.64
2. 地域の文化資源を生かしたまちづくりが盛んであること	3.37	2.75	3.30	2.71	3.42	2.79	3.67	2.93	3.77	2.85	3.57	2.88	3.38	2.76	3.13	2.63	2.84	2.53
3. 県民の文化・芸術活動に関する情報量	3.21	2.61	3.12	2.59	3.27	2.62	3.53	2.65	3.56	2.68	3.34	2.68	3.22	2.68	3.04	2.50	2.67	2.44
4. 県民の文化・芸術活動に関する情報の提供方法	3.19	2.56	3.10	2.54	3.26	2.57	3.53	2.68	3.52	2.65	3.36	2.68	3.25	2.61	2.99	2.45	2.62	2.32
5. 講座などの多様な学習・体験機会	3.21	2.52	3.06	2.47	3.32	2.56	3.49	2.71	3.67	2.61	3.43	2.64	3.22	2.57	2.96	2.39	2.60	2.28
6. 文化・芸術活動の指導者や研究者の養成	3.16	2.56	3.08	2.53	3.22	2.58	3.36	2.70	3.48	2.69	3.40	2.68	3.19	2.58	2.97	2.42	2.60	2.36
7. 質の高い芸術や芸能の鑑賞機会の充実	3.33	2.57	3.24	2.55	3.40	2.59	3.57	2.95	3.67	2.65	3.60	2.62	3.42	2.60	3.06	2.46	2.76	2.35
8. 文化・芸術施設の整備、既存施設の活用	3.22	2.64	3.14	2.62	3.29	2.65	3.57	3.02	3.55	2.78	3.44	2.75	3.31	2.64	2.94	2.45	2.66	2.37
9. 練習・発表・創作等の活動に対する支援	3.14	2.52	3.04	2.49	3.22	2.55	3.43	2.80	3.53	2.63	3.39	2.62	3.16	2.54	2.91	2.42	2.56	2.27
10. 地元の芸術家の掘り起こし・支援	3.12	2.52	3.07	2.46	3.17	2.56	3.44	2.77	3.48	2.62	3.36	2.65	3.13	2.54	2.94	2.37	2.52	2.26
11. 県内の大学との連携による公演・講座の実施	3.02	2.51	2.92	2.49	3.10	2.53	3.27	2.81	3.21	2.67	3.28	2.66	3.06	2.55	2.88	2.35	2.48	2.16
12. 外国人との文化交流・相互理解の促進	3.02	2.46	2.99	2.44	3.05	2.47	3.39	2.74	3.28	2.60	3.31	2.64	3.08	2.53	2.80	2.25	2.39	2.08
13. 文化財保護のためのPRや人材の育成	3.17	2.56	3.14	2.54	3.19	2.57	3.42	2.81	3.41	2.73	3.39	2.67	3.22	2.59	2.99	2.40	2.66	2.25
14. 文化財や歴史的遺産の観光等への活用	3.31	2.73	3.29	2.72	3.33	2.74	3.58	3.10	3.51	2.95	3.46	2.80	3.37	2.74	3.18	2.54	2.84	2.45
15. 伝統芸能の公開や後継者育成の促進	3.34	2.61	3.28	2.60	3.38	2.63	3.64	2.83	3.61	2.68	3.53	2.73	3.34	2.64	3.18	2.49	2.85	2.42
16. 子どもが文化に親しむ機会の提供	3.54	2.60	3.47	2.60	3.59	2.59	3.97	2.98	4.08	2.67	3.81	2.71	3.47	2.62	3.26	2.43	2.86	2.33
17. 文化・芸術に関する総合的な満足度	3.41	2.64	3.35	2.62	3.46	2.65	3.70	2.94	3.75	2.77	3.60	2.73	3.41	2.65	3.24	2.49	2.90	2.39

3-4. 沖縄県の文化・芸術の今後について

(1) 文化・芸術に関する情報の取得媒体

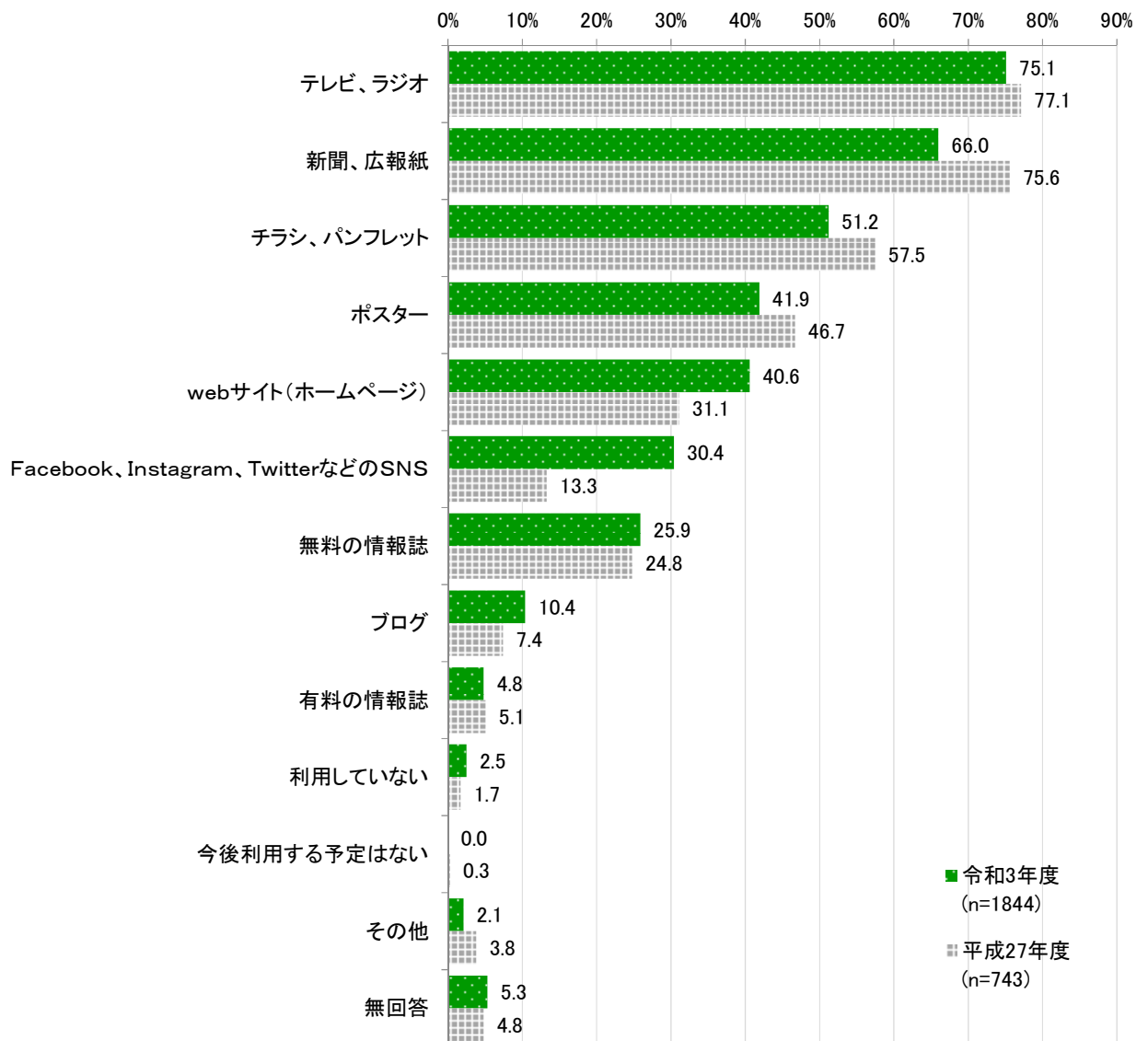
① 現在入手している媒体

文化・芸術に関する情報を現在入手している媒体について、「テレビ、ラジオ」(75.1%)の割合が最も高く、次いで「新聞、広報紙」(66.0%)、「チラシ、パンフレット」(51.2%)となっている。

前回調査(H27)と比較すると、「Facebook、Instagram、TwitterなどのSNS」では17.1ポイント増加し、他の情報取得媒体よりも増加幅が特に大きくなった。

性別にみると、男女の差はあまり見られない。

年代別に見ると、「Facebook、Instagram、TwitterなどのSNS」(64.9%)の割合は20代で最も高く、年代が高くなるにつれて割合が減少している。



第1章 県民向けアンケート調査

(%)

		n=	新聞、 広報紙	チラシ、パ ンフレット	テレビ、 ラジオ	webサイト (ホーム ページ)	ポスター	有料の 情報誌	無料の 情報誌	ブログ
全 体		1844	66.0	51.2	75.1	40.6	41.9	4.8	25.9	10.4
性別	男性	786	64.9	46.4	75.4	41.1	39.1	5.6	25.6	10.4
	女性	1058	66.8	54.7	74.9	40.2	44.0	4.2	26.1	10.4
年代別	20代	171	39.2	36.8	59.6	50.9	33.3	2.3	17.0	9.9
	30代	275	52.7	43.3	69.5	59.6	43.6	4.4	26.9	16.0
	40代	368	61.4	50.0	70.7	52.4	41.6	4.3	29.3	12.2
	50代	374	67.1	51.9	77.5	45.2	39.6	4.5	24.1	11.5
	60代	375	76.8	60.3	82.7	26.4	43.7	5.9	27.5	7.5
	70代 以上	281	85.4	56.2	82.6	12.8	46.3	6.0	26.0	5.3

		n=	Faceboo k、Instagr am、Twitt erなどの SNS	その他	利用してい ない	今後利用す る予定はな い	無回答
全 体		1844	30.4	2.1	2.5	-	5.3
性別	男性	786	28.0	1.7	2.7	-	5.6
	女性	1058	32.2	2.4	2.4	-	5.0
年代別	20代	171	64.9	0.6	8.2	-	5.3
	30代	275	58.9	3.6	1.5	-	2.5
	40代	368	38.6	1.9	3.3	-	5.4
	50代	374	24.1	1.6	2.1	-	4.5
	60代	375	10.7	2.9	1.1	-	7.7
	70代 以上	281	5.7	1.1	1.4	-	5.3

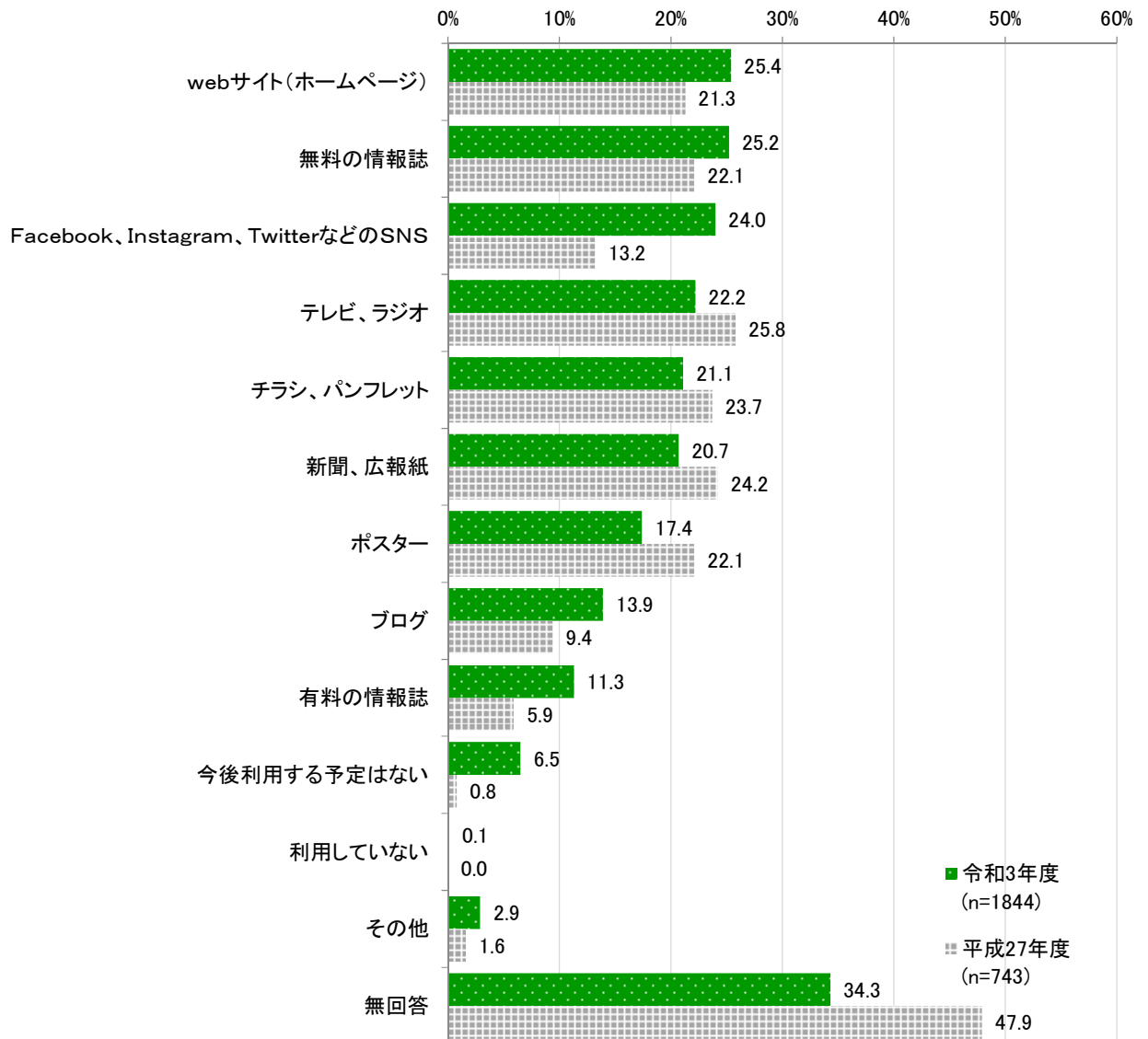
② 今後入手したい媒体

文化・芸術に関する情報を今後入手したい媒体について、「webサイト(ホームページ)」(25.4%)の割合が最も高く、次いで「無料の情報誌」(25.2%)、「Facebook、Instagram、TwitterなどのSNS」(24.0%)となっている。

前回調査(H27)と比較すると、「Facebook、Instagram、TwitterなどのSNS」では 10.8 ポイント増加している。

性別にみると、男女の差はあまり見られない。

年代別に見ると、「Facebook、Instagram、TwitterなどのSNS」(34.5%)の割合は20代が最も高く、年代が低くなるにつれて割合が減少している。



第1章 県民向けアンケート調査

(%)

		n=	新聞、広報紙	チラシ、パンフレット	テレビ、ラジオ	webサイト (ホームページ)	ポスター	有料の情報誌	無料の情報誌	ブログ
全体		1844	20.7	21.1	22.2	25.4	17.4	11.3	25.2	13.9
性別	男性	786	17.4	17.4	19.1	25.6	15.1	12.3	22.3	15.6
	女性	1058	23.2	23.9	24.6	25.2	19.0	10.6	27.3	12.7
年代別	20代	171	19.9	27.5	25.7	26.3	27.5	20.5	30.4	19.3
	30代	275	20.4	18.2	20.7	26.2	16.0	10.9	24.7	10.9
	40代	368	23.6	23.6	24.2	27.4	17.7	11.4	25.8	15.8
	50代	374	21.4	20.6	21.7	29.9	17.6	9.1	25.9	12.8
	60代	375	18.7	21.3	24.5	23.7	15.5	9.3	23.2	14.7
	70代以上	281	19.6	17.4	16.7	17.4	14.2	11.7	23.1	11.7

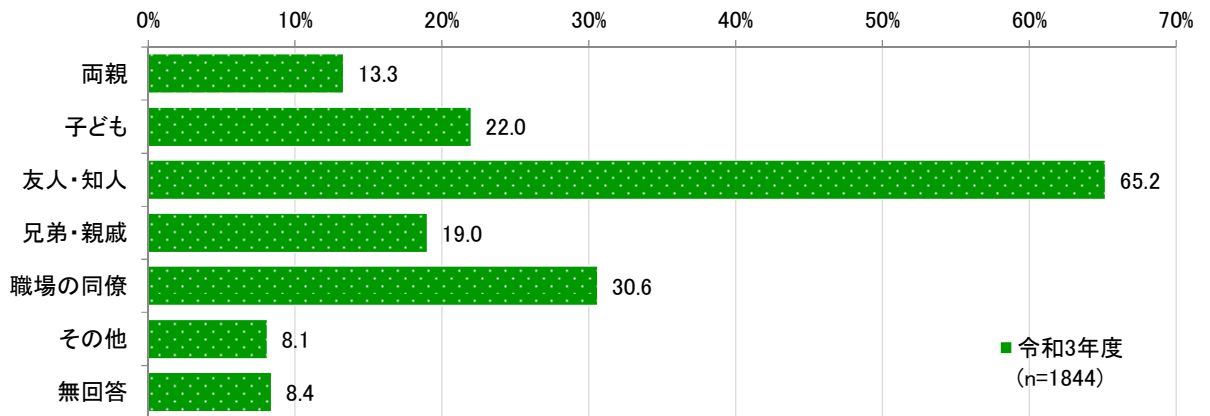
		n=	Facebook、Instagram、TwitterなどのSNS	その他	利用していない	今後利用する予定はない	無回答
全体		1844	24.0	2.9	0.1	6.5	34.3
性別	男性	786	23.7	3.8	-	8.0	34.9
	女性	1058	24.3	2.3	0.1	5.3	33.9
年代別	20代	171	34.5	2.3	-	8.2	25.7
	30代	275	27.3	0.7	-	9.5	30.9
	40代	368	26.9	1.9	-	8.7	27.7
	50代	374	24.9	2.9	-	5.9	33.2
	60代	375	19.5	3.2	0.3	3.2	39.5
	70代以上	281	15.7	6.4	-	4.6	46.3

(2) 文化・芸術に関する情報の取得元

文化・芸術に関する情報の取得元をみると、「友人・知人」(65.2%)の割合が最も高く、次いで「職場の同僚」(30.6%)、「子ども」(22.0%)となっている。

性別にみると、「子ども」の割合は男性(17.9%)より女性(25.0%)が高く、「職場の同僚」の割合は女性(29.7%)より男性(31.9%)が高くなっている。

年代別に見ると、「両親」の割合は20代(39.8%)が最も高く、一方で「子ども」の割合は70代以上(28.5%)が最も高くなっている。



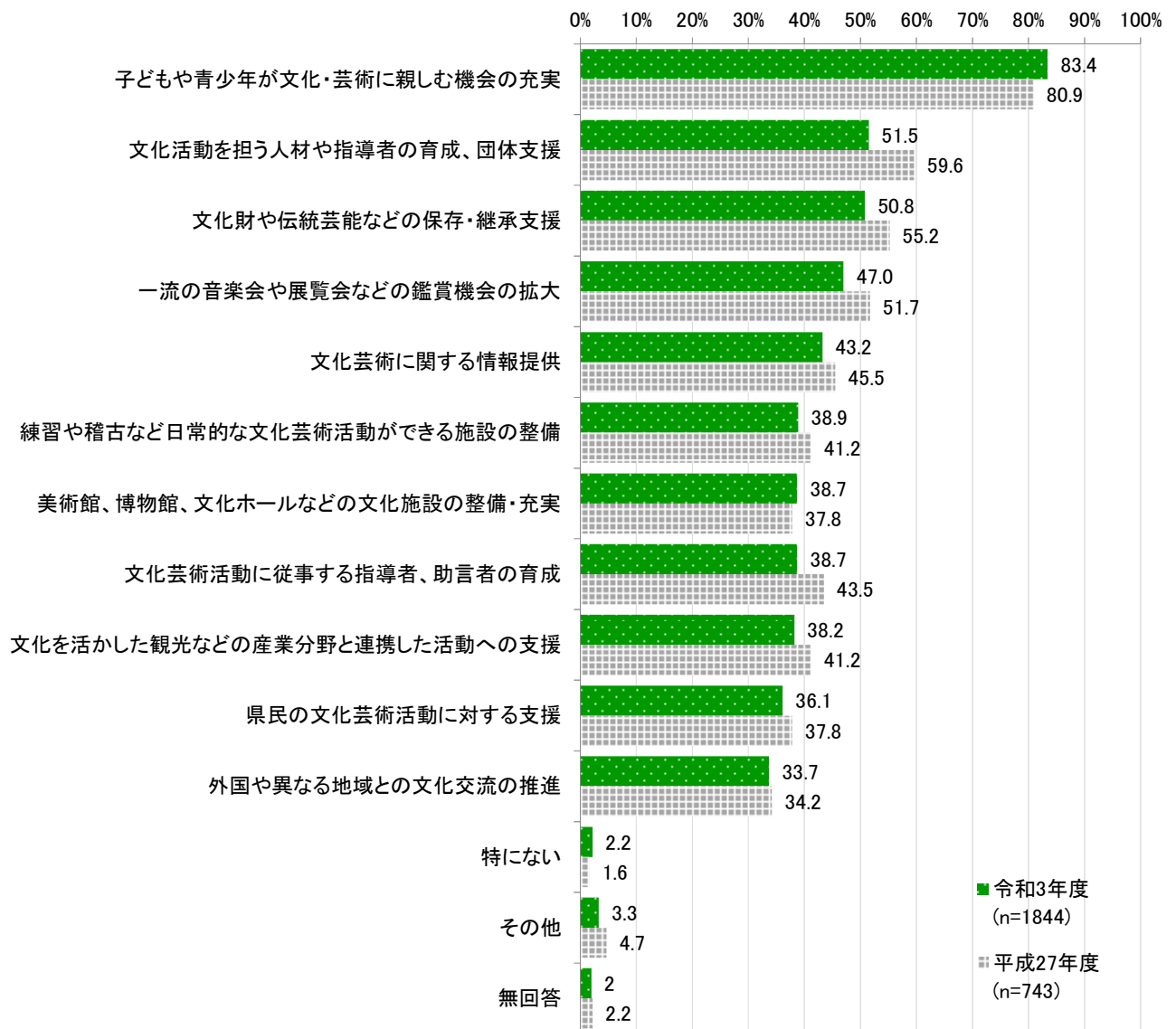
		n=	両親	子ども	友人・知人	兄弟・親戚	職場の同僚	その他	無回答
全体		1844	13.3	22.0	65.2	19.0	30.6	8.1	8.4
性別	男性	786	11.8	17.9	64.2	17.4	31.9	8.0	8.3
	女性	1058	14.4	25.0	65.9	20.2	29.7	8.2	8.5
年代別	20代	171	39.8	3.5	56.1	22.8	29.2	9.9	5.3
	30代	275	29.5	12.0	62.2	21.8	38.5	9.1	4.7
	40代	368	16.8	27.2	60.6	13.6	43.8	8.2	6.8
	50代	374	7.0	23.3	65.5	20.6	39.3	9.4	7.8
	60代	375	1.9	26.4	69.6	18.4	20.8	6.1	12.3
	70代以上	281	0.4	28.5	73.3	19.9	8.2	7.1	11.7

第1章 県民向けアンケート調査

(3) 文化・芸術を振興するために注力すべきこと

文化・芸術を振興するために注力すべきことについて、「子どもや青少年が文化・芸術に親しむ機会の充実」(83.4%)で最も高く、次いで「文化活動を担う人材や指導者の育成、団体支援」(51.5%)、「文化財や伝統芸能などの保存・継承支援」(50.8%)と続く。

前回調査(H27)と比較すると、「子どもや青少年が文化・芸術に親しむ機会の充実」は、前回と変わらず1位となっており、2.5ポイント増加している。



第1章 県民向けアンケート調査

(%)

		n=	子どもや青少年が文化・芸術に親しむ機会の充実	文化活動を担う人材や指導者の育成、団体支援	一流の音楽会や展覧会などの鑑賞機会の拡大	文化芸術に関する情報提供	文化財や伝統芸能などの保存・継承支援	文化を活かした観光などの産業分野と連携した活動への支援	美術館、博物館、文化ホールなどの文化施設の整備・充実	県民の文化芸術活動に対する支援
全体		1844	83.4	51.5	47.0	43.2	50.8	38.2	38.7	36.1
性別	男性	786	82.7	53.9	42.0	42.0	51.8	40.7	38.3	36.6
	女性	1058	83.9	49.7	50.7	44.0	50.1	36.4	38.9	35.7
年代別	20代	171	81.3	44.4	42.7	42.1	41.5	33.3	34.5	24.6
	30代	275	86.2	44.7	45.1	42.5	51.3	40.7	34.5	33.8
	40代	368	84.8	42.7	45.4	41.0	42.7	32.3	35.1	31.3
	50代	374	85.0	58.8	51.1	45.7	57.8	40.1	41.4	40.6
	60代	375	78.9	56.8	48.5	44.5	50.7	41.9	44.0	39.5
	70代以上	281	84.0	57.3	45.9	42.0	57.7	39.1	39.1	41.3

		n=	練習や稽古など日常的な文化芸術活動ができる施設の整備	外国や異なる地域との文化交流の推進	文化芸術活動に従事する指導者、助言者の育成	その他	特にない	無回答
全体		1844	38.9	33.7	38.7	3.3	2.2	2.0
性別	男性	786	38.4	35.5	40.1	3.6	2.3	1.8
	女性	1058	39.3	32.3	37.6	3.0	2.2	2.2
年代別	20代	171	33.3	38.6	33.3	1.2	2.9	0.6
	30代	275	39.6	34.5	36.0	4.4	1.1	0.4
	40代	368	32.6	35.1	32.3	2.4	1.9	1.1
	50代	374	40.1	34.5	40.1	3.2	1.9	1.6
	60代	375	41.3	30.4	41.3	3.7	3.7	3.5
	70代以上	281	45.2	31.3	47.3	3.9	1.8	4.3